
高等学校における教育の質確保への対応のための調査研究
（「高校生のための学びの基礎診断」等を活用した PDCA サイクルの確立）
アンケート調査報告書

株式会社富士通総研

令和4年3月

1. 調査の実施方針（目的・対象・調査項目・方法）

1.1. 調査の目的

文部科学省では、高校生に求められる基礎学力の確実な習得等に向けて「高校生のための学びの基礎診断（以下、「基礎診断」と記載）」制度を実施している。本調査は、「基礎診断」における認定ツールの活用状況について、高等学校等の学校現場における実態把握として、基礎的データを取得することを目的としている。

1.2. 調査の対象

（認定ツール）

対象の認定ツールは、平成 29 年度認定¹の 25 ツールとする。教科は国語、数学、英語、3 教科分となっている。

（対象とする学校全体）

全国の高等学校 5031 校を対象としている。学校数は文部科学省「学校コード²」および「学校基本調査³」に基づいている。

学校コード表における学校データ 5067 校（学校コード表の学校種 D1:高等学校、D2:中等教育学校を抽出。）の内、廃校を除去（「本分校」の 3:廃校）すると 5031 校となる。この数値について、学校基本調査（令和 3 年度）と同数であることを確認している。

5031 校（全日制・定時制：4856 校、通信制（独立校）：119 校、中等教育学校：56 校）

¹ 文部科学省、「高校生のための学びの基礎診断」認定ツール一覧。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/___icsFiles/afieldfile/2018/12/26/1411945_001.pdf

² 文部科学省、学校コード、令和 3 年 5 月 1 日時点（確定版）。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

³ 文部科学省、学校基本調査（令和 3 年度）、政府統計の総合窓口(e-stat)、表番号 122、156。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00400001&tstat=000001011528>

（アンケート回答の対象校）

新型コロナウイルス感染症拡大による学校現場の業務負担を鑑み、サンプル調査としている。「学校コード」の 5031 校から、1000 校を無作為に抽出（単純無作為抽出法）し、抽出後のサンプルと「学校コード」の都道府県別および国公私別に集計・比較し、学校件数に大きな偏りがないことを確認している。

対象校数（1000 校）としては、1000 校からの回収率を 60%と想定し、標本 $n=600$ と設定している。その際、母比率 p の推定の標準誤差は、母集団のサイズが $N=5031$ なので、標準誤差が最も大きくなる $p=0.5$ とした場合で 0.0192（1.92%）となる。

1.3. 調査項目

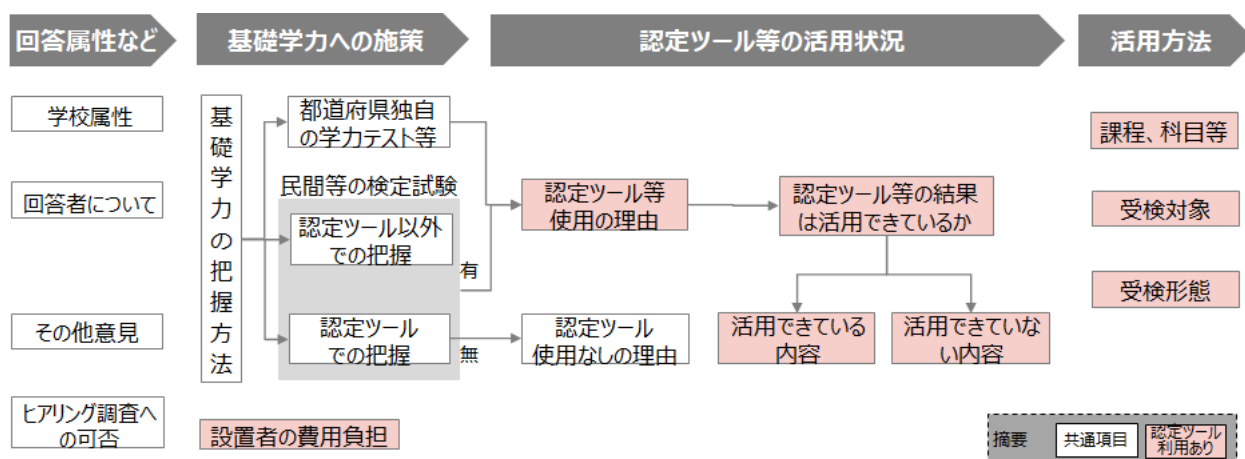
本調査の目的は、認定ツールの活用状況の「基礎的データの取得」であるため、特に次の2つについて明確にすべく質問の流れを設けている。

- ・認定ツールを使用している／使用していない高等学校の割合
- ・認定ツールを使用している／使用していない理由

合わせて、認定ツール活用概況として、各校における基礎学力の把握方法等の取組、受検形態等の活用方法を調査している。

次の4つの項目について、下図の構成で調査票の質問を設けている。

- ・「A. 貴校について」：回答属性の把握
- ・「B. 生徒の基礎学力への取組」：基礎学力への施策の把握
- ・「C. 基礎診断の活用状況」：認定ツール等の活用状況
- ・「D. 利用している認定ツール等の活用状況」：認定ツールの活用方法の把握



図表. 調査項目と構成

1.4. 調査方法

(調査期間)

2022年2月2日(水)～2月28日(月)。

(調査形式)

WEB アンケート調査（学校へ共通 URL を提示し、学校は WEB フォームより回答）

- ・WEB フォームは各設問への回答により、その後表示される質問や選択肢は変化する。質問数は最大 21 問で、その際の必須回答は最大 13 問である。
- ・回答の所要時間は 15 分程度。
- ・複数回入力された際は、同一学校名における回答日時の（システムに記録される）最新

の回答内容を採用・
(調査依頼方法)

- ・次の学校設置者等より、管下の学校へ回答依頼。
各都道府県・指定都市教育委員会、各都道府県私立高等学校担当課、
附属高等学校を置く各国公立大学法人担当課、
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた地方公共団体担当課
- ・調査依頼の際、学校設置者等および学校へ、回答内容は個別の学校名を秘匿した状態に加工の上、文部科学省委託事業の結果として公表することを通知。

2. アンケート調査結果

2.1. 回答状況

無作為に抽出したアンケート回答の対象校 1000 校のうち、学校より 849 件の回答入力があり、有効回答数 794 件としている。そのうち学校名が「学校コード」と照合できないもの 5 件（入力の不備や欠損などのエラーは修正した後の件数である）、1 つの高等学校等が複数回入力し重複しているもの 50 件について削除している。

調査結果としての標本誤差として、母集団 $N = 5031$ 、標本 $n = 794$ において抽出率⁴は 0.918 となる。p を「認定ツールを使用している回答%」86.6 とした場合、標本誤差は 0.0232 で、95%信頼区間は下記⑦となる。

2.2. アンケート調査結果（サマリー）

○認定ツールを使用しているとの回答は全体 794 件のうち、688 件で、回答%は 86.6%である（Q9 回答より）。母比率 p の 95%信頼区間は $84.3\% \leq p \leq 88.9\%$ となる。（記⑦）

- 認定ツールを使用している理由は、「自校の生徒の学力に合っている」、「検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ」の回答割合が高い。
- 認定ツールを活用できているとの回答は、「3 教科」が 90.9%、「国語」が 74.4%、「数学」が 74.8%、「英語」が 89.8%である。

○認定ツールを活用できている内容は、生徒の PDCA では「01.(P)生徒自身での学習改善」、教員の PDCA では「11.(D)（志望校合格に向けた）進路指導の充実」、学校の PDCA では「20.(C)改善結果の共有・分析（学校全体）」が最も回答%が高い。

○認定ツールを使用していない（利用状況不明を含む）との回答は全体 794 件のうち、106 件で、回答%は 13.4%である（Q9 回答より）。母比率 p の 95%信頼区間は $11.1\% \leq p \leq 15.7\%$ となる。

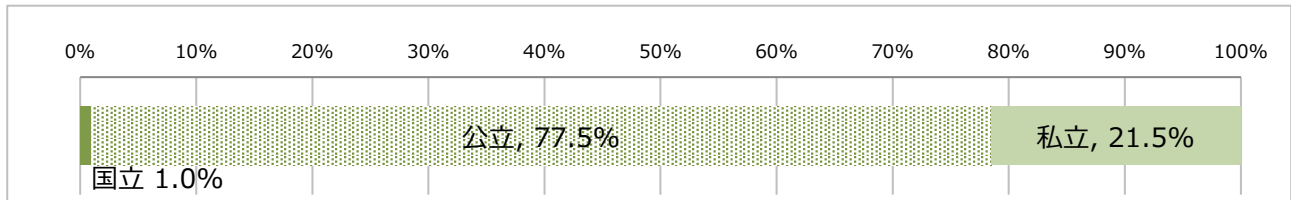
- 認定ツールを使用していない理由は各教科において、「検定費用がかかるため」は 43.1～45.3%、「自校の生徒の学力に合わないため」は 37.6～44.1%と回答%が高い。

⁴ 総務省統計局。 <https://www.stat.go.jp/teacher/survey.html>

2.3. アンケート調査結果（各設問への回答）

各設問の結果は以下のとおり。

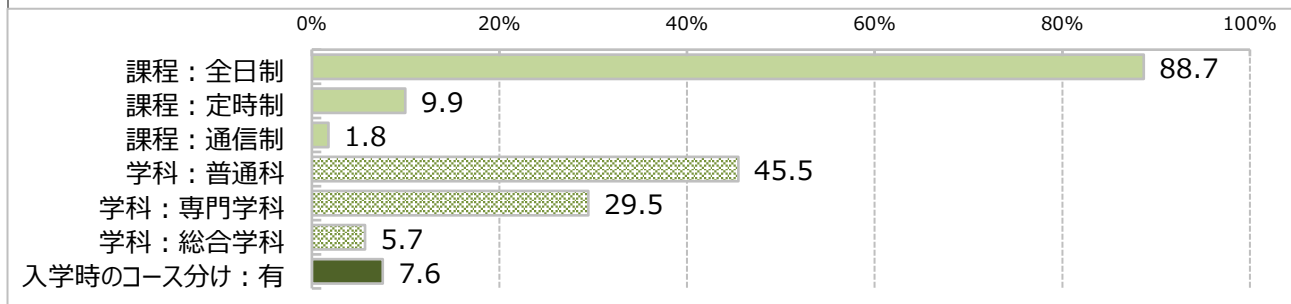
Q1. 国公立・私立の別を選択してください。
 (必須入力、単一選択)



| | 回答数 | 回答% | 母数 | 母数% | %差 |
|-----|-----|-------|------|-------|------|
| 国立 | 8 | 1.0 | 19 | 0.4 | 0.6 |
| 公立 | 615 | 77.5 | 3561 | 70.8 | 6.7 |
| 私立 | 171 | 21.5 | 1451 | 28.8 | -7.3 |
| その他 | 0 | 0.0 | - | - | - |
| 計 | 794 | 100.0 | 5031 | 100.0 | 0.0 |

国公立・私立の別は、「公立」が 77.5%と最も高く、次いで「私立」が 21.5%、「国立」が 1.0%となっている。上表「母数」は、本調査において無作為抽出に使用した「文部科学省、学校コード、令和 3 年 5 月 1 日時点（確定版）」（以降、母数「学校コード」という。）による、全国の高等学校等の数とパーセントである。本調査の回答においては、母数との比較において「公立」の回答が 6.7%、「国立」の回答が 0.6%多く、「私立」の回答が 7.3%少ない。よって、「私立」の傾向の反映が若干少ないものとなっている。

Q2. 設置の課程・学科などを選択してください。
 ※入学時のコース分けとは、「文理特進コース、グローバルコース」といった分けでの選考がある場合を言います。
 (任意入力、複数選択)



| | Q2.全体 | | |
|-------------|-------|---------|------|
| | 回答数 | 無回答数 | 回答% |
| 課程：全日制 | 704 | 21 | 88.7 |
| 課程：定時制 | 79 | | 9.9 |
| 課程：通信制 | 14 | | 1.8 |
| 学科：普通科 | 361 | 283 | 45.5 |
| 学科：専門学科 | 234 | | 29.5 |
| 学科：総合学科 | 45 | | 5.7 |
| 入学時のコース分け：有 | 60 | 734 | 7.6 |
| | | (n=794) | |

| Q1. 国公立・私立の別（回答数） | | | | Q1. 国公立・私立の別（回答%） | | |
|-------------------|-----|-----|---------|-------------------|---------|---------|
| 国立 | 公立 | 私立 | 計 | 国立 | 公立 | 私立 |
| 8 | 539 | 157 | 704 | 100.0 | 87.6 | 91.8 |
| 0 | 76 | 3 | 79 | 0.0 | 12.4 | 1.8 |
| 0 | 3 | 11 | 14 | 0.0 | 0.5 | 6.4 |
| 0 | 23 | 37 | 60 | 0.0 | 3.7 | 21.6 |
| | | | (n=794) | (n=8) | (n=615) | (n=171) |

※太文字部：回答%の分母

設置の課程について、「全日制」は 88.7%で回答全体(n=794)の約 9 割、「定時制」は 9.9%、1.8%となっている。課程に対して、21 件は「全日制」「定時制」「通信制」のいずれにも回答が無かったものである。設置の学科について、学校においては「普通科」「専門学科」「総合学科」のいずれかに該当するものであるが、回答が無かった件数が 283 件あり回答全体の 35.6%と約 4 割弱に及ぶことから、分析の対象から外すこととする。「入学時のコース分け：有」については、7.6%となっている。

上表（右側）は、「Q1.国公立・私立の別」とのクロス集計である。「全日制」は「私立」が 91.8%、「定時制」は「公立」が 12.4%、「入学時のコース分け：有」は「私立」が 21.6%であり、「Q2.全体」の回答%よりも多くなっている。特に「入学時のコース分け：有」は「私立」の回答%が顕著に高い。

なお、クロス集計表における 1 カテゴリーの n が 30 未満で特段言及する必要のないものは、説明の対象としていない。（以降も同様）

| | Q7 民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール） 回答数 | | | | | | Q7 民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール） 回答% | | | | | | | |
|--------|-------------------------------|------------------|---------------------|----------------------|--------------------|---------|-------------------------------|-------------------|------------------|---------------------|----------------------|--------------------|---------|-------|
| | 実施しており、十分に活用できている | 実施しており、一部活用できている | 実施しているが、あまり活用できていない | 実施しているが、ほとんど活用できていない | 実施しているが、詳細は把握していない | 実施していない | 計 | 実施しており、十分に活用できている | 実施しており、一部活用できている | 実施しているが、あまり活用できていない | 実施しているが、ほとんど活用できていない | 実施しているが、詳細は把握していない | 実施していない | 計 |
| 課程：全日制 | 275 | 258 | 52 | 3 | 3 | 113 | 704 | 39.1 | 36.6 | 7.4 | 0.4 | 0.4 | 16.1 | 100.0 |
| 課程：定時制 | 14 | 16 | 2 | 1 | 0 | 46 | 79 | 17.7 | 20.3 | 2.5 | 1.3 | 0.0 | 58.2 | 100.0 |
| 課程：通信制 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 9 | 14 | 21.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 7.1 | 64.3 | 100.0 |
| | (n=286) | (n=279) | (n=56) | (n=4) | (n=4) | (n=165) | (n=794) | | | | | | | |

※縦計には併置が含まれている

※太文字部：回答%計の分母

上表は、「Q7. 生徒の基礎学力を把握するために実施している方法、および把握した結果の活用状況」（後述）の回答選択肢のうち、「民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール）」とのクロス集計である。「全日制」は「活用できている」との回答%が 75.7%である。（「実施しており、十分に活用できている」が 39.1%、「実施しており、一部活用できている」が 36.1%）。「定時制」は「実施していない」が 58.2%で高くなっており、「活用できている」との回答%は 38.0%（「実施しており、十分に活用できている」と「実施しており、一部活用できている」の計）である。

「全日制」「定時制」「通信制」における「実施している」「実施していない」との回答数について、比率の差の検定（3 群比較のカイ二乗検定）を行うと、p 値は 1.08E-20 にて、0.05 より小さいため、各課程における認定ツールの実施有無に有意水準 5%で有意差がある。

Q3. 貴校名（正式名称）について、記載してください。

正式名称は、文部科学省 HP 掲載の「学校コード」における学校名を想定しています。

設置の課程・学科などを選択してください。

（必須入力、自由記述）

前述の「回答状況」に記載のとおり、高等学校等より 849 件の入力があり、そのうち学校名が「学校コード」と照合できないもの 5 件（入力の不備や欠損などのエラーは修正した後の件数である）、1 つの高等学校等が複数回入力し重複しているもの 50 件について削除し、有効回答数 794 件としている。なお、「学校コード」と照合し修正した入力エラーは 99 件である。

Q4. 貴校の代表所在地について、都道府県名を選択してください。

（必須入力、単一選択）

| | 回答数 | 回答% | 母数% | %差 |
|------|-----|-----|-----|------|
| 北海道 | 44 | 5.5 | 5.5 | 0.0 |
| 青森県 | 16 | 2.0 | 1.5 | 0.5 |
| 岩手県 | 14 | 1.8 | 1.6 | 0.2 |
| 宮城県 | 24 | 3.0 | 1.9 | 1.1 |
| 秋田県 | 15 | 1.9 | 1.0 | 0.9 |
| 山形県 | 11 | 1.4 | 1.2 | 0.2 |
| 福島県 | 17 | 2.1 | 2.2 | -0.1 |
| 茨城県 | 16 | 2.0 | 2.6 | -0.6 |
| 栃木県 | 19 | 2.4 | 1.5 | 0.9 |
| 群馬県 | 11 | 1.4 | 1.6 | -0.2 |
| 埼玉県 | 38 | 4.8 | 4.0 | 0.8 |
| 千葉県 | 23 | 2.9 | 3.7 | -0.8 |
| 東京都 | 67 | 8.4 | 8.8 | -0.4 |
| 神奈川県 | 27 | 3.4 | 4.8 | -1.4 |
| 新潟県 | 18 | 2.3 | 2.2 | 0.1 |
| 富山県 | 11 | 1.4 | 1.1 | 0.3 |
| 石川県 | 10 | 1.3 | 1.1 | 0.2 |
| 福井県 | 6 | 0.8 | 0.7 | 0.1 |
| 山梨県 | 4 | 0.5 | 0.9 | -0.4 |
| 長野県 | 18 | 2.3 | 2.1 | 0.2 |
| 岐阜県 | 11 | 1.4 | 1.7 | -0.3 |
| 静岡県 | 27 | 3.4 | 2.8 | 0.6 |
| 愛知県 | 26 | 3.3 | 4.4 | -1.1 |
| 三重県 | 12 | 1.5 | 1.5 | 0.0 |

| | 回答数 | 回答% | 母数% | %差 |
|------|-----|-----|-----|------|
| 滋賀県 | 7 | 0.9 | 1.2 | -0.3 |
| 京都府 | 10 | 1.3 | 2.2 | -0.9 |
| 大阪府 | 44 | 5.5 | 5.3 | 0.2 |
| 兵庫県 | 25 | 3.1 | 4.2 | -1.1 |
| 奈良県 | 7 | 0.9 | 1.3 | -0.4 |
| 和歌山県 | 5 | 0.6 | 1.0 | -0.4 |
| 鳥取県 | 6 | 0.8 | 0.6 | 0.2 |
| 島根県 | 8 | 1.0 | 0.9 | 0.1 |
| 岡山県 | 18 | 2.3 | 1.8 | 0.5 |
| 広島県 | 22 | 2.8 | 2.7 | 0.1 |
| 山口県 | 19 | 2.4 | 1.6 | 0.8 |
| 徳島県 | 6 | 0.8 | 0.8 | 0.0 |
| 香川県 | 8 | 1.0 | 0.9 | 0.1 |
| 愛媛県 | 10 | 1.3 | 1.5 | -0.2 |
| 高知県 | 8 | 1.0 | 0.9 | 0.1 |
| 福岡県 | 25 | 3.1 | 3.3 | -0.2 |
| 佐賀県 | 9 | 1.1 | 0.9 | 0.2 |
| 長崎県 | 8 | 1.0 | 1.6 | -0.6 |
| 熊本県 | 20 | 2.5 | 1.5 | 1.0 |
| 大分県 | 6 | 0.8 | 1.1 | -0.3 |
| 宮崎県 | 10 | 1.3 | 1.0 | 0.3 |
| 鹿児島県 | 10 | 1.3 | 1.8 | -0.5 |
| 沖縄県 | 18 | 2.3 | 1.3 | 1.0 |
| 計 | 794 | 100 | 100 | 0.5 |

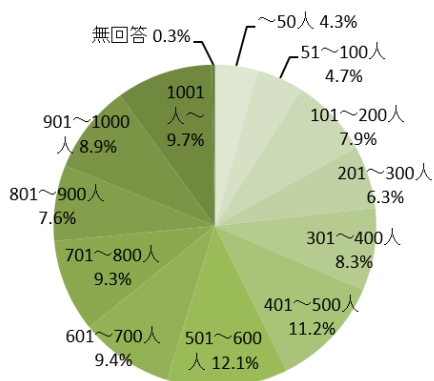
※「%差」計「0.5」は、四捨五入（小数点1桁）計算による。

都道府県別の回答状況は上表のとおりである。入試期間中のところ、全国の高等学校等より回答いただいた。「%差」として大きな値はなく、概ね母数「学校コード」を反映した回答数となっている。

Q5. 貴校の生徒数について、選択してください。

※本校・分校がある場合、本校の方は本校の生徒数、分校の方は分校の生徒数を選択。

(任意入力、単一選択)



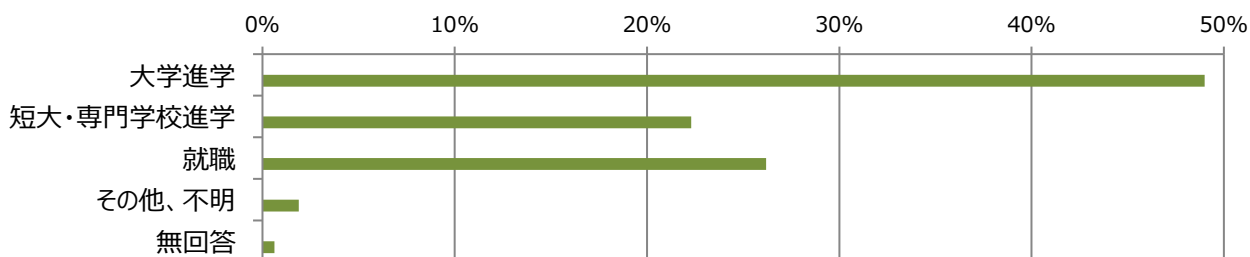
| 選択肢 | 回答数 | 回答% | 母数% | %差 |
|-----------|-----|-------|-------|------|
| ~50人 | 34 | 4.3 | 7.3 | -3.0 |
| 51~100人 | 37 | 4.7 | 6.6 | -1.9 |
| 101~200人 | 63 | 7.9 | 7.4 | 0.5 |
| 201~300人 | 50 | 6.3 | 6.4 | -0.1 |
| 301~400人 | 66 | 8.3 | 7.3 | 1.0 |
| 401~500人 | 89 | 11.2 | 9.7 | 1.5 |
| 501~600人 | 96 | 12.1 | 10.8 | 1.3 |
| 601~700人 | 75 | 9.4 | 8.9 | 0.5 |
| 701~800人 | 74 | 9.3 | 9.6 | -0.3 |
| 801~900人 | 60 | 7.6 | 8.0 | -0.4 |
| 901~1000人 | 71 | 8.9 | 7.7 | 1.2 |
| 1001人~ | 77 | 9.7 | 10.5 | -0.8 |
| 無回答 | 2 | 0.3 | - | - |
| 計 | 794 | 100.0 | 100.2 | -0.5 |

※「母数%」計「100.2」m「%差」計「-0.5」は、四捨五入（小数点1桁）計算による。

上表は、高等学校等の生徒数について、学校基本調査「文部科学省、学校基本調査（令和 3 年度）、高等学校、表番号 123」を母数として比較している。全ての選択肢に対する「%差」は±3%以内となっており、特段の偏りは見受けられない。

Q6. 卒業後の進路について、R2 年度の卒業生の状況を概算でお答えください。

(任意入力、自由記述)



| 区分番号 | 区分 | 回答数 | 回答% |
|------|-----------|-----|-------|
| 1 | 大学進学 | 389 | 49.0 |
| 2 | 短大・専門学校進学 | 177 | 22.3 |
| 3 | 就職 | 208 | 26.2 |
| 4 | その他、不明 | 15 | 1.9 |
| - | 無回答 | 5 | 0.6 |
| | 計 | 794 | 100.0 |

Q6 では令和 2 年度の卒業生の進路として、「大学進学」「短大・専門学校進学」「就職」「その他、不明」の 4 つの区分に対して概算値をパーセントにて入力していただいた。上図表では、各回答について 4 つの区分のうち、最も回答パーセントが高い区分を各回答における代表的区分として集計している。回答の区分が重複した場合、例えば「大学進学、50%」「短大・専門学校進学、50%」との回答の場合は、「大学」とする等、区分番号が小さい方を代表的区分としている。なお、区分の重複件数は、「大学進学」と他の区分が同じパーセントで「大学進学」を代表的区分としたものは 13 件、「短大・専門学校進学」と他の区分が同じパーセントで「短大・専門学校進学」としたものは 10 件、「就職」と他の区分が同じパーセントで「就職」を代表的区分としたものは 3 件である。

| | Q7 民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール） 回答数 | | | | | | | | Q7 民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール） 回答% | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|------------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------|-----|-----|-------------------------------|------------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------|-------|------|
| | 実施しており、十分に活用できている | 実施しており、一部活用できている | 実施しているが、あまり活用できていない | 実施しているが、ほとんど活用できていない | 実施しているが、ほとんど活用できていない | 実施していない | 計 | ①+② | 実施しており、十分に活用できている | 実施しており、一部活用できている | 実施しているが、あまり活用できていない | 実施しているが、ほとんど活用できていない | 実施しているが、ほとんど活用できていない | 実施していない | 計 | ①+② |
| | ① | ② | | | | | | ① | ② | | | | | | | |
| 大学進学 | 186 | 130 | 15 | 0 | 2 | 56 | 389 | 316 | 47.8 | 33.4 | 3.9 | 0.0 | 0.5 | 14.4 | 100.0 | 81.2 |
| 短大・専門学校進学 | 55 | 74 | 19 | 0 | 1 | 28 | 177 | 129 | 31.1 | 41.8 | 10.7 | 0.0 | 0.6 | 15.8 | 100.0 | 72.9 |
| 就職 | 43 | 72 | 21 | 4 | 1 | 67 | 208 | 115 | 20.7 | 34.6 | 10.1 | 1.9 | 0.5 | 32.2 | 100.0 | 55.3 |
| その他、不明 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 13 | 15 | 1 | 0.0 | 6.7 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 86.7 | 100.0 | 6.7 |
| 無回答 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 4 | 40.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 100.0 | 80.0 |
| 計 | 286 | 279 | 56 | 4 | 4 | 165 | 794 | 565 | 36.0 | 35.1 | 7.1 | 0.5 | 0.5 | 20.8 | 100.0 | 71.2 |

上表は、「Q7. 生徒の基礎学力を把握するために実施している方法、および把握した結果の活用状況」（後述）の回答選択肢のうち、「民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール）」とのクロス集計である。「大学進学」にて「活用できている」（上表①+②）は 81.2%、「短大・専門学校進学」にて「活用できている」は 72.9%、「就職」にて「活用できている」は 55.3%となっている（上表のセル色が橙色箇所）。

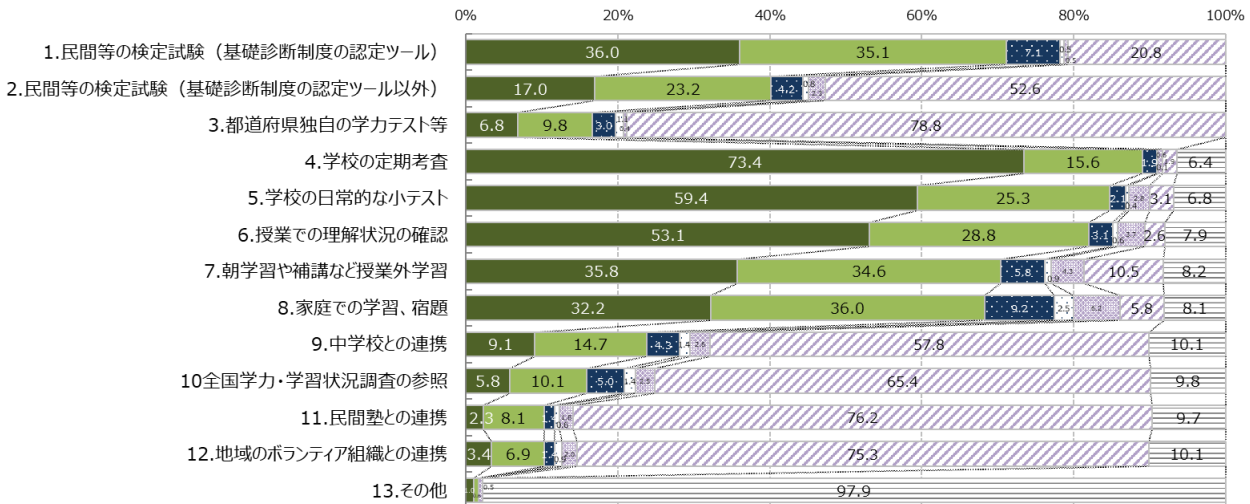
「大学進学」「短大・専門学校進学」「就職」における「実施している」「実施していない」との回答数について、比率の差の検定（3群比較のカイ二乗検定）を行うと、p値は 4.16E-07 にて、0.05 より小さいため、進学区分における認定ツールの実施有無に有意水準 5%で有意差がある。

Q7.生徒の基礎学力を把握するために実施している方法、および把握した結果の活用状況について回答してください。結果の活用には、生徒の学習改善だけでなく、教員の指導改善や学校全体での情報共有などを含みます

- ・選択肢「9.中学校との連携」は例えば、中学校教員による巡回指導や、地域の小中学校と基礎学力定着に向けた連携・研究を行う組織を設置するなど地域ぐるみの指導体制構築などの取組のことです。
- ・選択肢「10.全国学力・学習状況調査の参照」は例えば、同テストを分析し授業へのフィードバックしたり、指導計画に盛り込む等の取組のことです。

(1～3項:必須入力、4～13項:任意入力。単一選択)

■実施しており、十分に活用できている ■実施しており、一部活用できている ■実施しているが、あまり活用できていない □実施しているが、ほとんど活用できていない
 ■実施しているが、詳細は把握していない ■実施していない □無回答



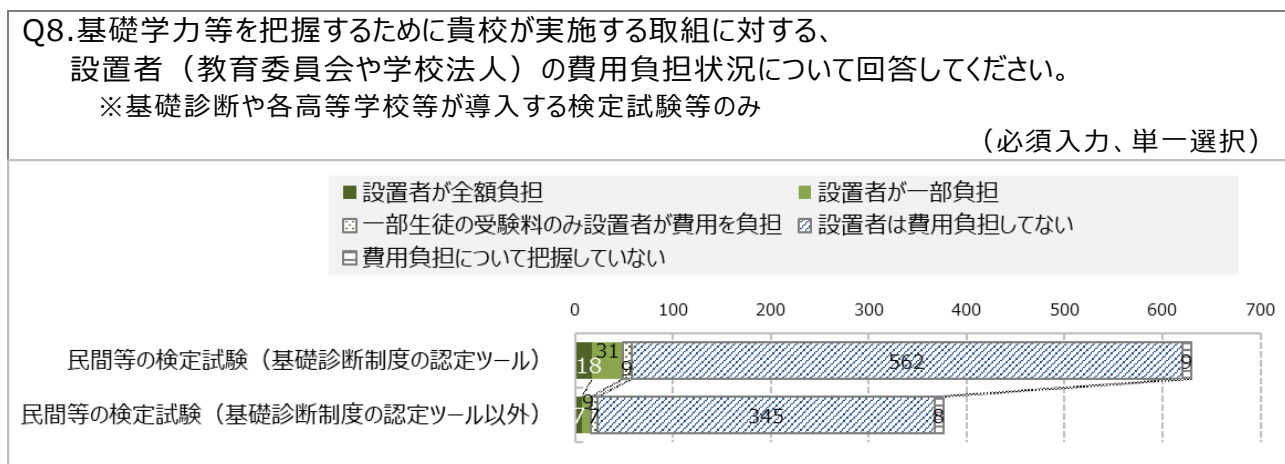
| 項目 | 回答数 | | | | | | | 回答% | | | | | | | 計 | 「実施して いおり、活 用できて いる」計 | | |
|----------------------------|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|------|--------------------------------|-------|------|
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | | | | |
| 1.民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール） | 286 | 279 | 56 | 4 | 4 | 165 | 0 | 794 | 565 | 36.0 | 35.1 | 7.1 | 0.5 | 0.5 | 20.8 | 0.0 | 100.0 | 71.2 |
| 2.民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール以外） | 135 | 184 | 33 | 6 | 18 | 418 | 0 | 794 | 319 | 17.0 | 23.2 | 4.2 | 0.8 | 2.3 | 52.6 | 0.0 | 100.0 | 40.2 |
| 3.都道府県独自の学力テスト等 | 54 | 78 | 24 | 9 | 3 | 626 | 0 | 794 | 132 | 6.8 | 9.8 | 3.0 | 1.1 | 0.4 | 78.8 | 0.0 | 100.0 | 16.6 |
| 4.学校の定期考査 | 583 | 124 | 15 | 1 | 5 | 15 | 51 | 794 | 707 | 73.4 | 15.6 | 1.9 | 0.1 | 0.6 | 1.9 | 6.4 | 100.0 | 89.0 |
| 5.学校の日常的な小テスト | 472 | 201 | 17 | 3 | 22 | 25 | 54 | 794 | 673 | 59.4 | 25.3 | 2.1 | 0.4 | 2.8 | 3.1 | 6.8 | 100.0 | 84.8 |
| 6.授業での理解状況の確認 | 422 | 229 | 25 | 5 | 29 | 21 | 63 | 794 | 651 | 53.1 | 28.8 | 3.1 | 0.6 | 3.7 | 2.6 | 7.9 | 100.0 | 82.0 |
| 7.朝学習や補講など授業外学習 | 284 | 275 | 46 | 7 | 34 | 83 | 65 | 794 | 559 | 35.8 | 34.6 | 5.8 | 0.9 | 4.3 | 10.5 | 8.2 | 100.0 | 70.4 |
| 8.家庭での学習、宿題 | 256 | 286 | 73 | 20 | 49 | 46 | 64 | 794 | 542 | 32.2 | 36.0 | 9.2 | 2.5 | 6.2 | 5.8 | 8.1 | 100.0 | 68.3 |
| 9.中学校との連携 | 72 | 117 | 34 | 11 | 21 | 459 | 80 | 794 | 189 | 9.1 | 14.7 | 4.3 | 1.4 | 2.6 | 57.8 | 10.1 | 100.0 | 23.8 |
| 10.全国学力・学習状況調査の参照 | 46 | 80 | 40 | 11 | 20 | 519 | 78 | 794 | 126 | 5.8 | 10.1 | 5.0 | 1.4 | 2.5 | 65.4 | 9.8 | 100.0 | 15.9 |
| 11.民間塾との連携 | 18 | 64 | 11 | 5 | 14 | 605 | 77 | 794 | 82 | 2.3 | 8.1 | 1.4 | 0.6 | 1.8 | 76.2 | 9.7 | 100.0 | 10.3 |
| 12.地域のボランティア組織との連携 | 27 | 55 | 11 | 7 | 16 | 598 | 80 | 794 | 82 | 3.4 | 6.9 | 1.4 | 0.9 | 2.0 | 75.3 | 10.1 | 100.0 | 10.3 |
| 13.その他 | 8 | 5 | 0 | 0 | 4 | 0 | 777 | 794 | 13 | 1.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 97.9 | 100.0 | 1.6 |

上図表は、生徒の基礎学力を把握するために実施している方法と結果の活用状況として、12項目およびその他の回答状況である。1～3項は民間等の検定試験や都道府県独自の学力テストであり、4～8項は学校や家庭での比較的日常的に実施されている方法、9～12項は中学校との連携などその他の個別の取組である。13項「その他」の自由記述における複数の回答として、「学校独自テスト:4件（福島県、静岡県、愛知県、三重県、熊本県、公立）」、「卒業生の活用:2件（東京都、公立・私立）」がある。

上表の回答%のうち、「実施しており、活用できている」（①と②の回答数計のパーセント）として、「4.学校の定期考査」が89.0%と最も多く、2番目に「5.学校の日常的な小テスト」が84.8%、3番目に「6.授業での理解状況の確認」が82.0%、4番目に「1.民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール）」が71.2%となっている。

下表は 1 ～12 項において「実施しており、活用できている」との回答データの相関分析である。いずれも高い相関で見られないが、7 項と 8 項の相関係数 0.555、5 項と 6 項が 0.534、4 項と 5 項が 0.524 と中程度の相関ある。1 項「民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール）」と相関がある他の方法は見られない。

| | Q7-1 | Q7-2 | Q7-3 | Q7-4 | Q7-5 | Q7-6 | Q7-7 | Q7-8 | Q7-9 | Q7-10 | Q7-11 | Q7-12 |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Q7-1 | 1.000 | | | | | | | | | | | |
| Q7-2 | 0.125 | 1.000 | | | | | | | | | | |
| Q7-3 | 0.053 | 0.007 | 1.000 | | | | | | | | | |
| Q7-4 | 0.160 | 0.112 | 0.100 | 1.000 | | | | | | | | |
| Q7-5 | 0.120 | 0.130 | 0.141 | 0.524 | 1.000 | | | | | | | |
| Q7-6 | 0.067 | 0.018 | 0.132 | 0.417 | 0.537 | 1.000 | | | | | | |
| Q7-7 | 0.185 | 0.141 | 0.119 | 0.295 | 0.408 | 0.393 | 1.000 | | | | | |
| Q7-8 | 0.191 | 0.207 | 0.116 | 0.316 | 0.420 | 0.355 | 0.555 | 1.000 | | | | |
| Q7-9 | 0.058 | 0.096 | 0.042 | 0.080 | 0.137 | 0.138 | 0.147 | 0.154 | 1.000 | | | |
| Q7-10 | 0.076 | 0.100 | 0.076 | 0.072 | 0.111 | 0.128 | 0.193 | 0.172 | 0.229 | 1.000 | | |
| Q7-11 | 0.040 | 0.105 | -0.012 | 0.082 | 0.099 | 0.098 | 0.124 | 0.162 | 0.184 | 0.160 | 1.000 | |
| Q7-12 | 0.076 | 0.069 | 0.069 | 0.043 | 0.086 | 0.057 | 0.097 | 0.114 | 0.281 | 0.189 | 0.192 | 1.000 |



| | 回答数 | | | | | 回答% | | | | | | | | |
|--------------------------|----------|----------|---------------------|----------------|-----------------|-----|---------|----------|----------|---------------------|----------------|-----------------|-------|---------|
| | 設置者が全額負担 | 設置者が一部負担 | 一部生徒の受験料のみ設置者が費用を負担 | 設置者は費用を負担していない | 費用負担について把握していない | 計 | 「負担あり」計 | 設置者が全額負担 | 設置者が一部負担 | 一部生徒の受験料のみ設置者が費用を負担 | 設置者は費用を負担していない | 費用負担について把握していない | 計 | 「負担あり」計 |
| | ① | ② | ③ | | | | ①～③ | | | | | | | |
| 民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール） | 18 | 31 | 9 | 562 | 9 | 629 | 58 | 2.9 | 4.9 | 1.4 | 89.3 | 1.4 | 100.0 | 9.2 |
| 民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール以外） | 7 | 9 | 7 | 345 | 8 | 376 | 23 | 1.9 | 2.4 | 1.9 | 91.8 | 2.1 | 100.0 | 6.1 |

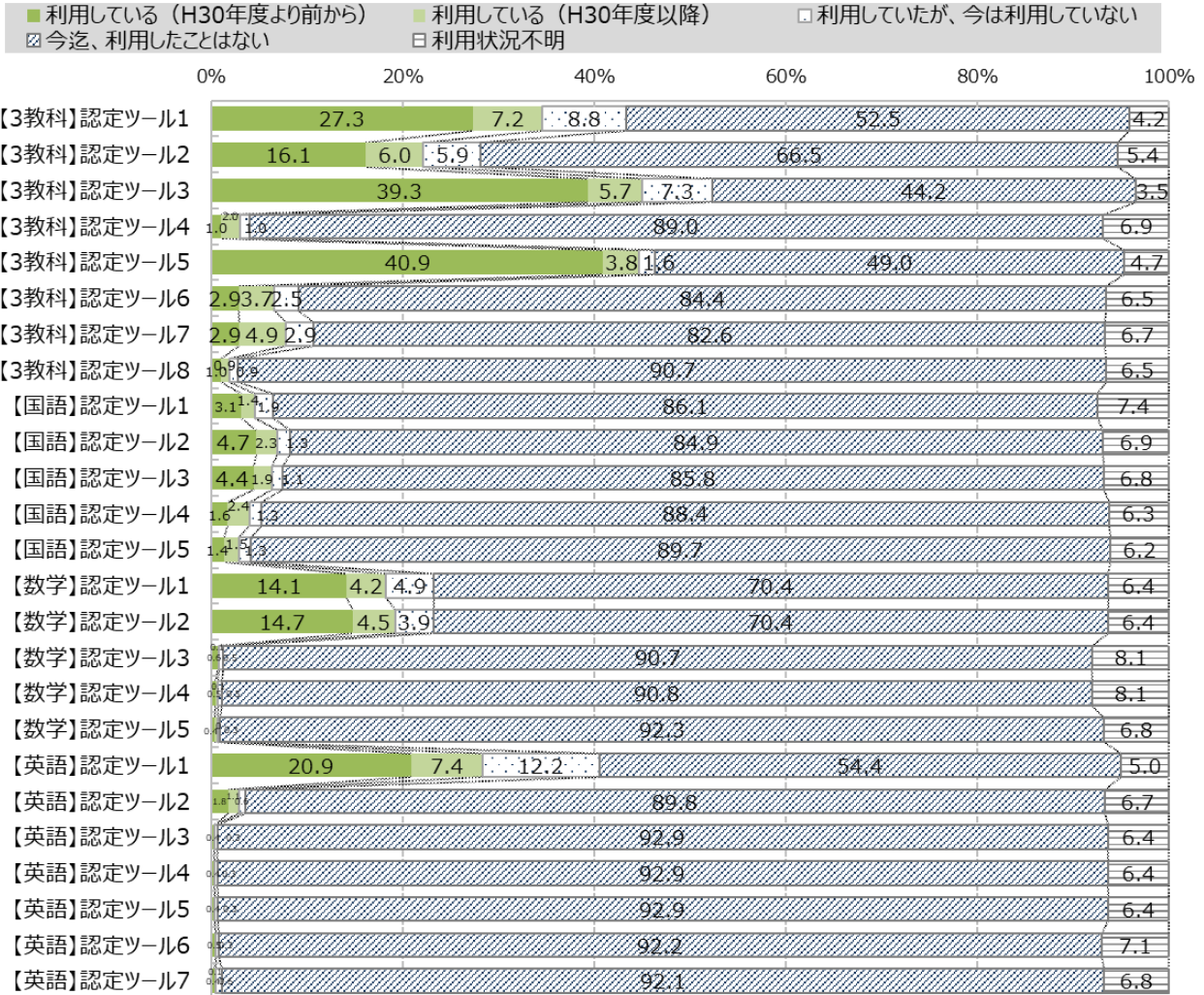
上図表は、基礎学力等を把握するために高等学校等が実施する取組に対する設置者（教育委員会や学校法人）の費用負担状況として、「民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール）」は 9.2%が「負担あり」（①「設置者が全額負担」、②「設置者が一部負担」、③「一部生徒の受験料のみ設置者が費用を負担」の合計）である。「負担あり」の回答数が多い都道府県は、東京都が 18 件（公立 14 件、私立 4 件）、高知県が 8 件（公立）、京都府が 4 件（公立）の順である。Q4 の都道府県別回答数を分母とする回答%においては、高知県が 100%、京都府が 40.0%、東京都が 26.9%となっている。

Q9.次にあげる事業者のテストや検定は、基礎診断制度での認定（H30年度）ツールです。

貴校での（過去も含めた）利用状況を回答してください。

※Q9の回答結果により、以降の質問項目が変化しますので、お手数ですが25個の認定ツール全てについて、お間違えのないよう回答願います。

（必須入力、単一選択）



| 認定ツール | 回答数 (認定ツールごと) | | | | | 回答数・回答% (教科ごと、認定ツール全体) | | | | | 回答% (認定ツールごと) | | | | | 利用している | | | | |
|-------------|---------------------|------------------|-------------------|--------------|--------|------------------------|------------------|--------|-------|--------------|----------------------|---------------------|------------------|-------------------|--------------|--------|--------|------|-----|------|
| | 利用している (H30年度より前から) | 利用している (H30年度以降) | 利用していたが、今は利用していない | 今迄、利用したことはない | 利用状況不明 | 対象教科のツールを1つ以上利用 | 対象教科のツールを1つも利用なし | 利用状況不明 | 計 | 認定ツールを1つ以上利用 | 認定ツールを1つも利用なし、利用状況不明 | 利用している (H30年度より前から) | 利用している (H30年度以降) | 利用していたが、今は利用していない | 今迄、利用したことはない | | 利用状況不明 | 計 | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | | ①+② | ③+④ | | | | | | | | | | | | | |
| 【3教科】認定ツール1 | 217 | 57 | 70 | 417 | 33 | 794 | 274 | 487 | 660 | 121 | 13 | 794 | 86.6% | 13.4% | 27.3 | 7.2 | 8.8 | 52.5 | 4.2 | 34.5 |
| 【3教科】認定ツール2 | 128 | 48 | 47 | 528 | 43 | 794 | 176 | 575 | 83.1% | | | | | | 16.1 | 6.0 | 5.9 | 66.5 | 5.4 | 22.2 |
| 【3教科】認定ツール3 | 312 | 45 | 58 | 351 | 28 | 794 | 357 | 409 | | | | | | | 39.3 | 5.7 | 7.3 | 44.2 | 3.5 | 45.0 |
| 【3教科】認定ツール4 | 8 | 16 | 8 | 707 | 55 | 794 | 24 | 715 | | | | | | | 1.0 | 2.0 | 1.0 | 89.0 | 6.9 | 3.0 |
| 【3教科】認定ツール5 | 325 | 30 | 13 | 389 | 37 | 794 | 355 | 402 | | | | | | | 40.9 | 3.8 | 1.6 | 49.0 | 4.7 | 44.7 |
| 【3教科】認定ツール6 | 23 | 29 | 20 | 670 | 52 | 794 | 52 | 690 | | | | | | | 2.9 | 3.7 | 2.5 | 84.4 | 6.5 | 6.5 |
| 【3教科】認定ツール7 | 23 | 39 | 23 | 656 | 53 | 794 | 62 | 679 | | | | | | | 2.9 | 4.9 | 2.9 | 82.6 | 6.7 | 7.8 |
| 【3教科】認定ツール8 | 8 | 7 | 7 | 720 | 52 | 794 | 15 | 727 | | | | | | | 1.0 | 0.9 | 0.9 | 90.7 | 6.5 | 1.9 |
| 【国語】認定ツール1 | 25 | 11 | 15 | 684 | 59 | 794 | 36 | 699 | 10.8% | 654 | 54 | 794 | | | 3.1 | 1.4 | 1.9 | 86.1 | 7.4 | 4.5 |
| 【国語】認定ツール2 | 37 | 18 | 10 | 674 | 55 | 794 | 55 | 684 | | | | | | | 4.7 | 2.3 | 1.3 | 84.9 | 6.9 | 6.9 |
| 【国語】認定ツール3 | 35 | 15 | 9 | 681 | 54 | 794 | 50 | 690 | | | | | | | 4.4 | 1.9 | 1.1 | 85.8 | 6.8 | 6.3 |
| 【国語】認定ツール4 | 13 | 19 | 10 | 702 | 50 | 794 | 32 | 712 | | | | | | | 1.6 | 2.4 | 1.3 | 88.4 | 6.3 | 4.0 |
| 【国語】認定ツール5 | 11 | 12 | 10 | 712 | 49 | 794 | 23 | 722 | | | | | | | 1.4 | 1.5 | 1.3 | 89.7 | 6.2 | 2.9 |
| 【数学】認定ツール1 | 112 | 33 | 39 | 559 | 51 | 794 | 145 | 598 | 20.0% | 580 | 55 | 794 | | | 14.1 | 4.2 | 4.9 | 70.4 | 6.4 | 18.3 |
| 【数学】認定ツール2 | 117 | 36 | 31 | 559 | 51 | 794 | 153 | 590 | | | | | | | 14.7 | 4.5 | 3.9 | 70.4 | 6.4 | 19.3 |
| 【数学】認定ツール3 | 5 | 1 | 4 | 720 | 64 | 794 | 6 | 724 | | | | | | | 0.6 | 0.1 | 0.5 | 90.7 | 8.1 | 0.8 |
| 【数学】認定ツール4 | 4 | 1 | 4 | 721 | 64 | 794 | 5 | 725 | | | | | | | 0.5 | 0.1 | 0.5 | 90.8 | 8.1 | 0.6 |
| 【数学】認定ツール5 | 3 | 2 | 2 | 733 | 54 | 794 | 5 | 735 | | | | | | | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 92.3 | 6.8 | 0.6 |
| 【英語】認定ツール1 | 166 | 59 | 97 | 432 | 40 | 794 | 225 | 529 | 29.7% | 516 | 42 | 794 | | | 20.9 | 7.4 | 12.2 | 54.4 | 5.0 | 28.3 |
| 【英語】認定ツール2 | 14 | 9 | 5 | 713 | 53 | 794 | 23 | 718 | | | | | | | 1.8 | 1.1 | 0.6 | 89.8 | 6.7 | 2.9 |
| 【英語】認定ツール3 | 3 | 0 | 2 | 738 | 51 | 794 | 3 | 740 | | | | | | | 0.4 | 0.0 | 0.3 | 92.9 | 6.4 | 0.4 |
| 【英語】認定ツール4 | 3 | 0 | 2 | 738 | 51 | 794 | 3 | 740 | | | | | | | 0.4 | 0.0 | 0.3 | 92.9 | 6.4 | 0.4 |
| 【英語】認定ツール5 | 3 | 0 | 2 | 738 | 51 | 794 | 3 | 740 | | | | | | | 0.4 | 0.0 | 0.3 | 92.9 | 6.4 | 0.4 |
| 【英語】認定ツール6 | 4 | 0 | 2 | 732 | 56 | 794 | 4 | 734 | | | | | | | 0.5 | 0.0 | 0.3 | 92.2 | 7.1 | 0.5 |
| 【英語】認定ツール7 | 3 | 1 | 5 | 731 | 54 | 794 | 4 | 736 | | | | | | | 0.4 | 0.1 | 0.6 | 92.1 | 6.8 | 0.5 |

上図表は、基礎診断制度での25つの認定（H30年度）ツールの利用状況である。「利用している」（①「利用している（H30年度より前から）」、②「利用している（H30年度以降）」の合計）が多い5つとして、「【3教科】認定ツール3」が45.0%、「【3教科】認定ツール5」が44.7%、「【3教科】認定ツール1」が34.5%、「【英語】認定ツール1」が28.3%、「【3教科】認定ツール2」が22.2%である。次いで、「【数学】認定ツール2」が19.3%、「【数学】認定ツール2」が18.3%である。この7つの認定ツール以外は、利用が8%未満となっており、7つの認定ツールのいずれかを利用している回答率は80.6%である。

また、教科ごとに見た場合、対象教科のツールを1つ以上利用している回答率について、「3教科」は83.1%、「国語」は10.8%、「数学」は20.0%、「英語」は29.7%である。認定ツール全体として見た場合、認定ツールを1つ以上利用している回答率は86.6%である。なお、Q7での「1.民間等の検定試験（基礎診断制度の認定ツール）」で「実施している」の回答は629件、79.2%であり、数値の食い違いが出ている。（以降の分析では、Q9の各認定ツールの利用状況の集計値を採用する。）

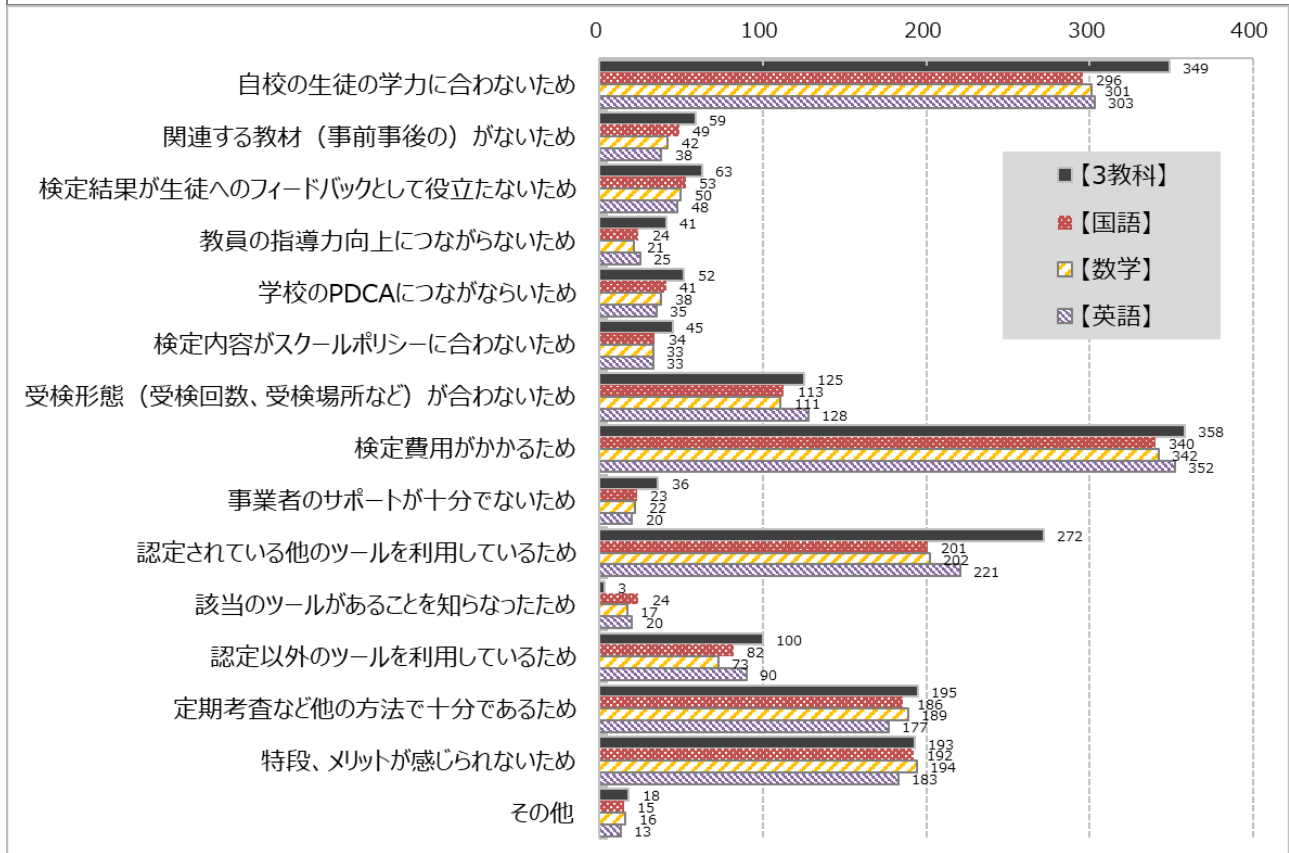
下表は、「利用している」認定ツールと、「Q6.卒業後の進路」4区分とのクロス集計である。利用が多い7つの認定ツールにおいて、「【3教科】認定ツール1」は「就職」の利用が45.3%と多く、他の6つの認定ツールは全て「大学進学」の利用が多い。

| | 回答数 | | Q6.卒業後の進路別の回答数 | | | | | Q6.卒業後の進路別の回答% | | | | | 分母： ①+② | |
|-------------|------|--------|----------------|-----------|-----|--------|-----|----------------|-----------|------|--------|-----|------------|--|
| | ①+② | 利用が多い順 | 大学進学 | 短大・専門学校進学 | 就職 | その他、不明 | 無回答 | 大学進学 | 短大・専門学校進学 | 就職 | その他、不明 | 無回答 | | |
| 【3教科】認定ツール1 | 274 | 3 | 49 | 96 | 124 | 2 | 3 | 17.9 | 35.0 | 45.3 | 0.7 | 1.1 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール2 | 176 | 5 | 69 | 61 | 45 | 0 | 1 | 39.2 | 34.7 | 25.6 | 0.0 | 0.6 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール3 | 357 | 1 | 282 | 59 | 14 | 2 | 0 | 79.0 | 16.5 | 3.9 | 0.6 | 0.0 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール4 | 24 | 14 | 17 | 7 | 0 | 0 | 0 | 70.8 | 29.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール5 | 355 | 2 | 258 | 69 | 25 | 1 | 2 | 72.7 | 19.4 | 7.0 | 0.3 | 0.6 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール6 | 52 | 10 | 31 | 9 | 11 | 0 | 1 | 59.6 | 17.3 | 21.2 | 0.0 | 1.9 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール7 | 62 | 8 | 43 | 12 | 5 | 0 | 2 | 69.4 | 19.4 | 8.1 | 0.0 | 3.2 | 100.0 | |
| 【3教科】認定ツール8 | 15 | 17 | 5 | 3 | 7 | 0 | 0 | 33.3 | 20.0 | 46.7 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【国語】認定ツール1 | 36 | 12 | 21 | 7 | 8 | 0 | 0 | 58.3 | 19.4 | 22.2 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【国語】認定ツール2 | 55 | 9 | 27 | 14 | 13 | 0 | 1 | 49.1 | 25.5 | 23.6 | 0.0 | 1.8 | 100.0 | |
| 【国語】認定ツール3 | 50 | 11 | 27 | 13 | 9 | 0 | 1 | 54.0 | 26.0 | 18.0 | 0.0 | 2.0 | 100.0 | |
| 【国語】認定ツール4 | 32 | 13 | 17 | 10 | 5 | 0 | 0 | 53.1 | 31.3 | 15.6 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【国語】認定ツール5 | 23 | 15 | 16 | 5 | 2 | 0 | 0 | 69.6 | 21.7 | 8.7 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【数学】認定ツール1 | 145 | 7 | 77 | 36 | 31 | 0 | 1 | 53.1 | 24.8 | 21.4 | 0.0 | 0.7 | 100.0 | |
| 【数学】認定ツール2 | 153 | 6 | 86 | 36 | 30 | 0 | 1 | 56.2 | 23.5 | 19.6 | 0.0 | 0.7 | 100.0 | |
| 【数学】認定ツール3 | 6 | 18 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 83.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【数学】認定ツール4 | 5 | 19 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 80.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【数学】認定ツール5 | 5 | 19 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 80.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール1 | 225 | 4 | 189 | 28 | 8 | 0 | 0 | 84.0 | 12.4 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール2 | 23 | 15 | 14 | 5 | 4 | 0 | 0 | 60.9 | 21.7 | 17.4 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール3 | 3 | 23 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール4 | 3 | 23 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール5 | 3 | 23 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール6 | 4 | 21 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 【英語】認定ツール7 | 4 | 21 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| 回答計 | 2090 | 1685 | ←多い順1～7の回答数 | | | | | | | | | | | |
| | | 80.6 | ←多い順1～7の回答% | | | | | | | | | | | |

Q10. 認定ツールを利用していない理由を回答してください。

下表の選択項目には、前問 Q9 にて「3. 利用していない、4. 利用したことはない」と選択した場合、その認定ツールが該当する科目が全て表示されます。利用していない認定ツールについて、利用していない理由を回答してください。

(任意入力、複数選択)



| | 回答数 | | | | 回答% | | | |
|----------------------------|-------|------|------|------|---------|---------|---------|---------|
| | 【3教科】 | 【国語】 | 【数学】 | 【英語】 | 【3教科】 | 【国語】 | 【数学】 | 【英語】 |
| 自校の生徒の学力に合わないため | 349 | 296 | 301 | 303 | 44.1 | 37.6 | 38.1 | 38.3 |
| 関連する教材（事前事後の）がないため | 59 | 49 | 42 | 38 | 7.5 | 6.2 | 5.3 | 4.8 |
| 検定結果が生徒へのフィードバックとして役立たないため | 63 | 53 | 50 | 48 | 8.0 | 6.7 | 6.3 | 6.1 |
| 教員の指導力向上につながらないため | 41 | 24 | 21 | 25 | 5.2 | 3.0 | 2.7 | 3.2 |
| 学校のPDCAにつながらないため | 52 | 41 | 38 | 35 | 6.6 | 5.2 | 4.8 | 4.4 |
| 検定内容がスクールポリシーに合わないため | 45 | 34 | 33 | 33 | 5.7 | 4.3 | 4.2 | 4.2 |
| 受検形態（受検回数、受検場所など）が合わないため | 125 | 113 | 111 | 128 | 15.8 | 14.3 | 14.0 | 16.2 |
| 検定費用がかかるため | 358 | 340 | 342 | 352 | 45.3 | 43.1 | 43.2 | 44.5 |
| 事業者のサポートが十分でないため | 36 | 23 | 22 | 20 | 4.6 | 2.9 | 2.8 | 2.5 |
| 認定されている他のツールを利用しているため | 272 | 201 | 202 | 221 | 34.4 | 25.5 | 25.5 | 27.9 |
| 該当のツールがあることを知らなかったため | 3 | 24 | 17 | 20 | 0.4 | 3.0 | 2.1 | 2.5 |
| 認定以外のツールを利用しているため | 100 | 82 | 73 | 90 | 12.6 | 10.4 | 9.2 | 11.4 |
| 定期考査など他の方法で十分であるため | 195 | 186 | 189 | 177 | 24.7 | 23.6 | 23.9 | 22.4 |
| 特段、メリットが感じられないため | 193 | 192 | 194 | 183 | 24.4 | 24.4 | 24.5 | 23.1 |
| その他 | 18 | 15 | 16 | 13 | 2.3 | 1.9 | 2.0 | 1.6 |
| | | | | | (n=791) | (n=788) | (n=791) | (n=791) |

※各教科nの値は、全回答数794件から、各教科の認定ツールを全て利用している学校を引いている。

認定ツールを利用していない理由として、「検定費用がかかるため」は 43.1～45.3%、「自校の生徒の学力に合わないため」は 37.6～44.1%で回答%が高い。「その他」の自由記述における複数の回答として、「生徒の現状に合わない（外国籍生徒が多い、通信制で全員が共通で実施できない、芸術科目に重きを置いている等）」5 件、「生徒や教員の負担が増える」5 件、「希望者のみ実施、募集しても人数が集まらない、あまりなじみがない」3 件などが見られた。

下表は、「Q6.卒業後の進路」3区分とのクロス集計である。上表のうち、回答数の多い（3教科が100件以上のもの）のみを対象としている。「自校の生徒の学力に合わないため」は、いずれの教科も「就職」が最も多く 59.1～62.5%、次いで「短大・専門学校進学」が 44.6～48.3%、「大学進学」が約 22.6～32.6%となっている。「検定費用がかかるため」は、いずれの教科においても 40%台の回答となっている。

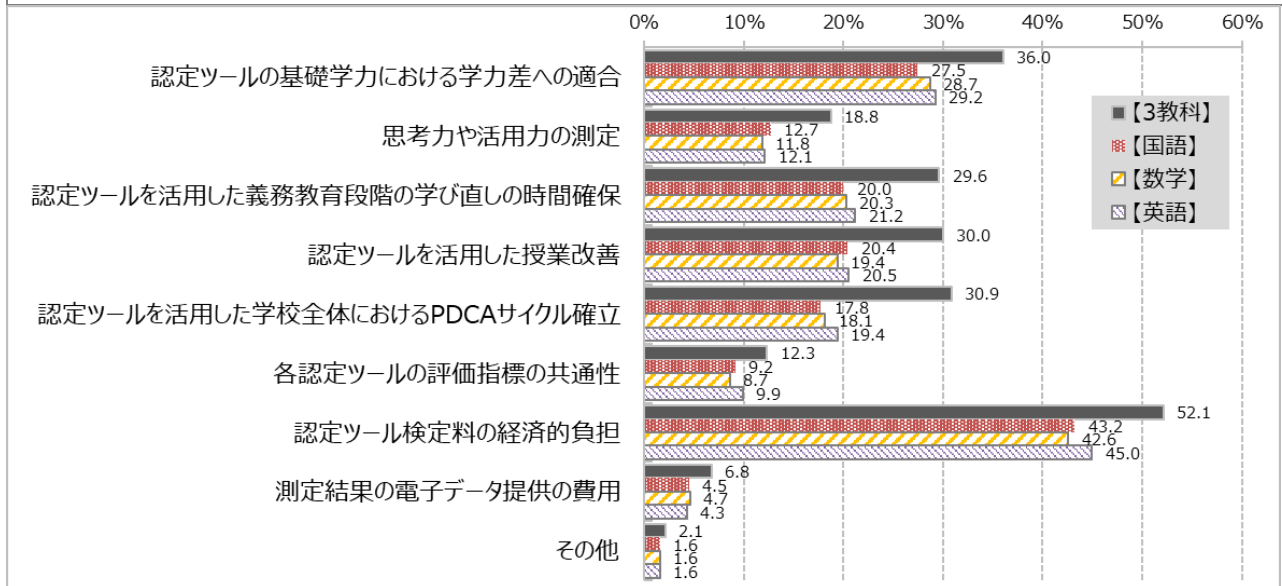
| | 認定ツール【3教科】 | | | 認定ツール【国語】 | | | 認定ツール【数学】 | | | 認定ツール【英語】 | | |
|--------------------------|------------|------|-----|-----------|------|-----|-----------|------|-----|-----------|------|-----|
| | 大学進学 | 短大・専 | 就職 | 大学進学 | 短大・専 | 就職 | 大学進学 | 短大・専 | 就職 | 大学進学 | 短大・専 | 就職 |
| 自校の生徒の学力に合わないため | 126 | 85 | 130 | 87 | 78 | 123 | 90 | 81 | 122 | 91 | 80 | 124 |
| 受験形態（受験回数、受験場所など）が合わないため | 84 | 23 | 18 | 74 | 23 | 16 | 75 | 21 | 15 | 82 | 26 | 20 |
| 検定費用がかかるため | 180 | 78 | 94 | 167 | 74 | 93 | 165 | 75 | 96 | 172 | 78 | 96 |
| 認定されている他のツールを利用しているため | 152 | 62 | 54 | 112 | 43 | 42 | 111 | 47 | 40 | 129 | 46 | 42 |
| 定期考査など他の方法で十分であるため | 111 | 29 | 49 | 105 | 29 | 46 | 103 | 32 | 48 | 93 | 31 | 47 |
| 特段、メリットが感じられないため | 116 | 31 | 37 | 112 | 29 | 41 | 114 | 28 | 41 | 104 | 29 | 40 |

| | 認定ツール【3教科】 | | | 認定ツール【国語】 | | | 認定ツール【数学】 | | | 認定ツール【英語】 | | |
|--------------------------|------------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|
| | 大学進学 | 短大・専 | 就職 | 大学進学 | 短大・専 | 就職 | 大学進学 | 短大・専 | 就職 | 大学進学 | 短大・専 | 就職 |
| 自校の生徒の学力に合わないため | 32.6 | 48.3 | 62.5 | 22.6 | 44.6 | 59.1 | 23.3 | 46.0 | 58.7 | 23.5 | 45.5 | 59.6 |
| 受験形態（受験回数、受験場所など）が合わないため | 21.7 | 13.1 | 8.7 | 19.2 | 13.1 | 7.7 | 19.4 | 11.9 | 7.2 | 21.2 | 14.8 | 9.6 |
| 検定費用がかかるため | 46.5 | 44.3 | 45.2 | 43.4 | 42.3 | 44.7 | 42.6 | 42.6 | 46.2 | 44.4 | 44.3 | 46.2 |
| 認定されている他のツールを利用しているため | 39.3 | 35.2 | 26.0 | 29.1 | 24.6 | 20.2 | 28.7 | 26.7 | 19.2 | 33.3 | 26.1 | 20.2 |
| 定期考査など他の方法で十分であるため | 28.7 | 16.5 | 23.6 | 27.3 | 16.6 | 22.1 | 26.6 | 18.2 | 23.1 | 24.0 | 17.6 | 22.6 |
| 特段、メリットが感じられないため | 30.0 | 17.6 | 17.8 | 29.1 | 16.6 | 19.7 | 29.5 | 15.9 | 19.7 | 26.9 | 16.5 | 19.2 |
| | (n=387) | (n=176) | (n=208) | (n=385) | (n=175) | (n=208) | (n=387) | (n=176) | (n=208) | (n=387) | (n=176) | (n=208) |

※各教科nの値は、全回答数794件から、各教科の認定ツールを全て利用している学校を引いている。

Q11. 認定ツールを活用した基礎学力の測定や定着において、課題と思われることがあれば、選択してください。

選択肢「1. 認定ツールの基礎学力における学力差への適合」は、「同一校内における学力差があったり、認定ツールの想定する「基礎学力」が低学力校には難しい内容となっている」等にて、認定ツールと学力が合わないことです。
（任意入力、複数選択）



| | 回答数 | | | | 回答% | | | |
|------------------------------|-------|------|------|------|---------|---------|---------|---------|
| | 【3教科】 | 【国語】 | 【数学】 | 【英語】 | 【3教科】 | 【国語】 | 【数学】 | 【英語】 |
| 認定ツールの基礎学力における学力差への適合 | 286 | 218 | 228 | 232 | 36.0 | 27.5 | 28.7 | 29.2 |
| 思考力や活用力の測定 | 149 | 101 | 94 | 96 | 18.8 | 12.7 | 11.8 | 12.1 |
| 認定ツールを活用した義務教育段階の学び直しの時間確保 | 235 | 159 | 161 | 168 | 29.6 | 20.0 | 20.3 | 21.2 |
| 認定ツールを活用した授業改善 | 238 | 162 | 154 | 163 | 30.0 | 20.4 | 19.4 | 20.5 |
| 認定ツールを活用した学校全体におけるPDCAサイクル確立 | 245 | 141 | 144 | 154 | 30.9 | 17.8 | 18.1 | 19.4 |
| 各認定ツールの評価指標の共通性 | 98 | 73 | 69 | 79 | 12.3 | 9.2 | 8.7 | 9.9 |
| 認定ツール検定料の経済的負担 | 414 | 343 | 338 | 357 | 52.1 | 43.2 | 42.6 | 45.0 |
| 測定結果の電子データ提供の費用 | 54 | 36 | 37 | 34 | 6.8 | 4.5 | 4.7 | 4.3 |
| その他 | 17 | 13 | 13 | 13 | 2.1 | 1.6 | 1.6 | 1.6 |
| | | | | | (n=794) | (n=794) | (n=794) | (n=794) |

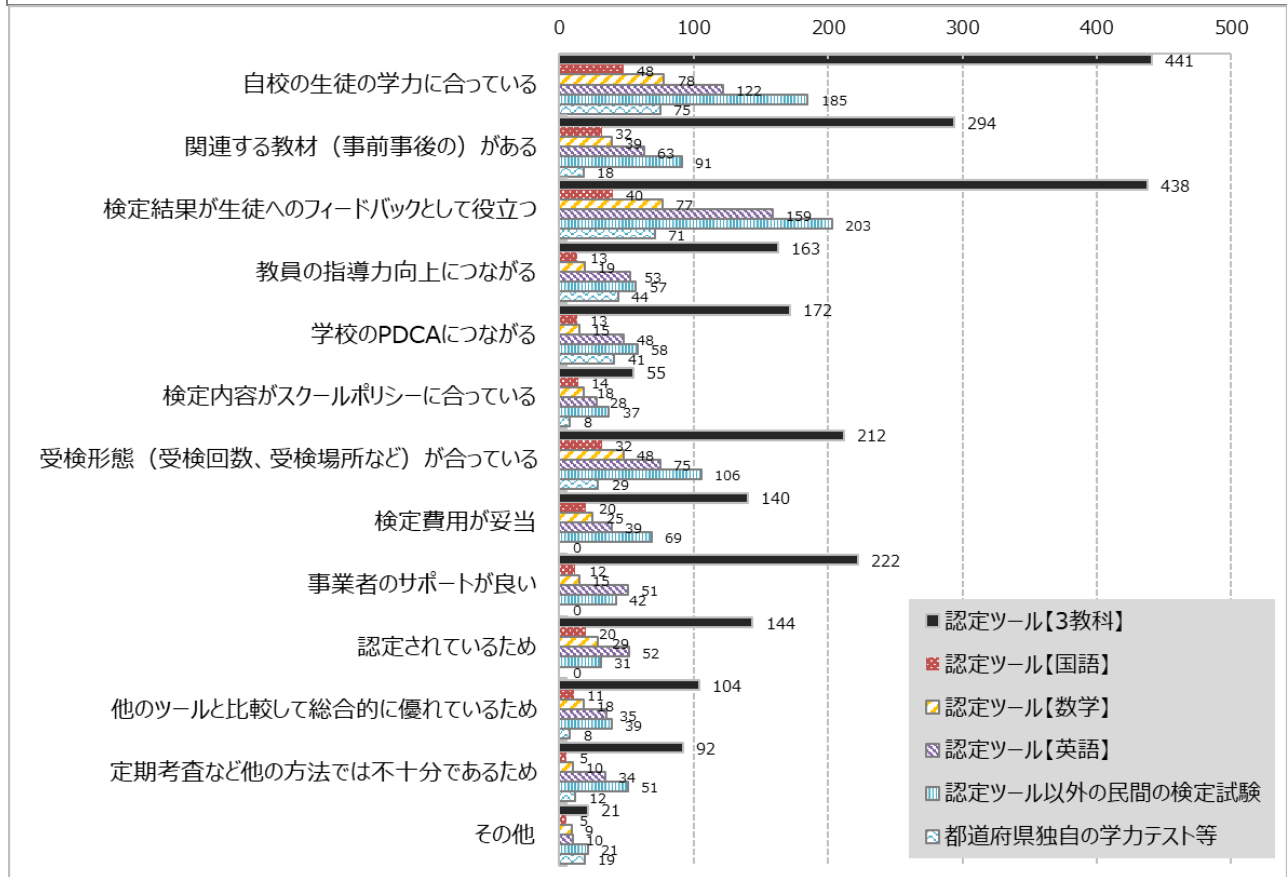
認定ツールを活用した基礎学力の測定や定着における課題として、いずれの教科の「認定ツール検定料の経済的負担」が最も多く42.6～52.1%、次いで「認定ツールの基礎学力における学力差への適合」が27.5～36.0%となっている。「その他」の自由記述における主な回答は以下のとおり。

- ・ 自校の生徒の現状にあっていないこと(公立、利用なし)
- ・ 多様なツールを使う生徒に対する個別最適化(公立、利用あり)
- ・ 授業進度と合っていない(公立、利用あり)
- ・ 認定ツールのフィードバックが認定以前と変わっていない。(GTZなど)(公立、利用あり)
- ・ 大学進学における学びの基礎診断の活用方法の在り方(私立、利用あり)
- ・ 大学受験への対応(公立、利用あり)
- ・ 教員の理解が得られない(公立、利用あり)
- ・ 英語のスピーキング学校採点は負担大、スピーキングはなくてほしい(公立、利用なし)
- ・ 授業時間が減り、事務的負担が増す(国立、利用なし)
- ・ 実施するための時間(国立、利用あり)
- ・ 実施時間の確保(公立、利用あり)
- ・ 日程調整(公立、利用あり)

Q12. 認定ツール等を利用している理由を回答してください。

「認定ツール以外」は、基礎診断制度の認定ツール以外の民間等の検定試験です。※以降の設問も同様

(必須入力、複数選択)



| | 回答数 | | | | | | 回答% | | | | | |
|-------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|---------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|---------------|
| | 認定ツール【3教科】 | 認定ツール【国語】 | 認定ツール【数学】 | 認定ツール【英語】 | 認定ツール以外の民間の検定試験 | 都道府県独自の学力テスト等 | 認定ツール【3教科】 | 認定ツール【国語】 | 認定ツール【数学】 | 認定ツール【英語】 | 認定ツール以外の民間の検定試験 | 都道府県独自の学力テスト等 |
| 自校の生徒の学力に合っている | 441 | 48 | 78 | 122 | 185 | 75 | 66.8 | 55.8 | 49.1 | 51.7 | 58.0 | 56.8 |
| 関連する教材（事前事後の）がある | 294 | 32 | 39 | 63 | 91 | 18 | 44.5 | 37.2 | 24.5 | 26.7 | 28.5 | 13.6 |
| 検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ | 438 | 40 | 77 | 159 | 203 | 71 | 66.4 | 46.5 | 48.4 | 67.4 | 63.6 | 53.8 |
| 教員の指導力向上につながる | 163 | 13 | 19 | 53 | 57 | 44 | 24.7 | 15.1 | 11.9 | 22.5 | 17.9 | 33.3 |
| 学校のPDCAにつながる | 172 | 13 | 15 | 48 | 58 | 41 | 26.1 | 15.1 | 9.4 | 20.3 | 18.2 | 31.1 |
| 検定内容がスクールポリシーに合っている | 155 | 14 | 18 | 28 | 37 | 8 | 8.3 | 16.3 | 11.3 | 11.9 | 11.6 | 6.1 |
| 受検形態（受検回数、受検場所など）が合っている | 212 | 32 | 48 | 75 | 106 | 29 | 32.1 | 37.2 | 30.2 | 31.8 | 33.2 | 22.0 |
| 検定費用が妥当 | 140 | 20 | 25 | 39 | 69 | 0 | 21.2 | 23.3 | 15.7 | 16.5 | 21.6 | 0.0 |
| 事業者のサポートが良い | 222 | 12 | 15 | 51 | 42 | 0 | 33.6 | 14.0 | 9.4 | 21.6 | 13.2 | 0.0 |
| 認定されているため | 144 | 20 | 29 | 52 | 31 | 0 | 21.8 | 23.3 | 18.2 | 22.0 | 9.7 | 0.0 |
| 他のツールと比較して総合的に優れているため | 104 | 11 | 18 | 35 | 39 | 8 | 15.8 | 12.8 | 11.3 | 14.8 | 12.2 | 6.1 |
| 定期考査など他の方法では不十分であるため | 92 | 5 | 10 | 34 | 51 | 12 | 13.9 | 5.8 | 6.3 | 14.4 | 16.0 | 9.1 |
| その他 | 21 | 5 | 9 | 10 | 21 | 19 | 3.2 | 5.8 | 5.7 | 4.2 | 6.6 | 14.4 |
| | | | | | | | (n=660) | (n=86) | (n=159) | (n=236) | (n=319) | (n=132) |

認定ツールを利用している理由として、いずれの教科も「自校の生徒の学力に合っている」、「検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ」の回答%が多く、特に「3教科」が66.8%、66.4%、「英語」の「検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ」が67.4%となっている。

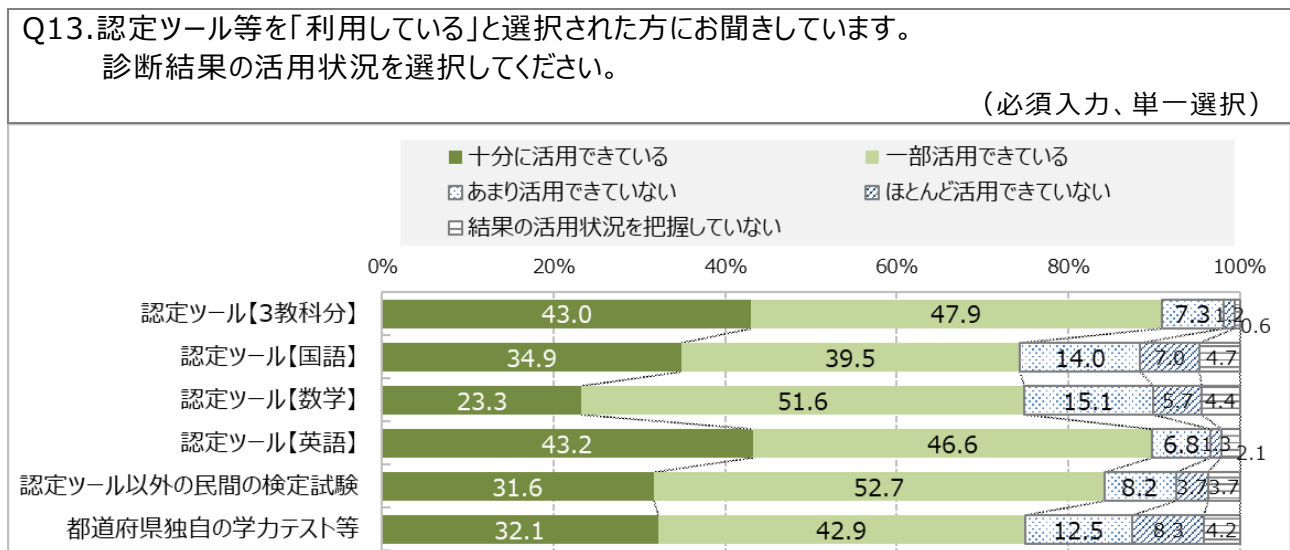
下表は、「Q6. 卒業後の進路」3区分とのクロス集計である。「自校の生徒の学力に合っている」は「英語」以外は「大学進学」よりも「短大・専門学校進学」や「就職」の方が回答%が多い。「検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ」は「国語」以外は「大学進学の方が回答%が多い。

Q6. 卒業後の進路別の回答数

| | 短大・専門 大学進学 | | | 短大・専門 大学進学 | | | 短大・専門 大学進学 | | | 短大・専門 大学進学 | | |
|-------------------------|---------------|-----------|-----------|---------------|----|------|---------------|-----------|-----------|---------------|----|------|
| | 認定ツール【3教科】 | 認定ツール【国語】 | 認定ツール【数学】 | 認定ツール【英語】 | 就職 | 大学進学 | 認定ツール【3教科】 | 認定ツール【国語】 | 認定ツール【数学】 | 認定ツール【英語】 | 就職 | 大学進学 |
| 自校の生徒の学力に合っている | 212 | 112 | 111 | 22 | 13 | 12 | 39 | 21 | 17 | 101 | 15 | 6 |
| 関連する教材（事前事後の）がある | 133 | 78 | 78 | 13 | 10 | 8 | 18 | 11 | 9 | 51 | 9 | 3 |
| 検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ | 252 | 92 | 89 | 19 | 12 | 8 | 45 | 16 | 15 | 136 | 17 | 6 |
| 教員の指導力向上につながる | 106 | 29 | 26 | 8 | 1 | 4 | 12 | 4 | 3 | 44 | 5 | 4 |
| 学校のPDCAにつながる | 103 | 29 | 36 | 10 | 1 | 2 | 11 | 1 | 3 | 44 | 0 | 4 |
| 検定内容がスクールポリシーに合っている | 32 | 11 | 11 | 9 | 3 | 2 | 9 | 6 | 3 | 24 | 1 | 3 |
| 受検形態（受検回数、受検場所など）が合っている | 128 | 34 | 49 | 18 | 7 | 7 | 30 | 6 | 12 | 63 | 7 | 5 |
| 検定費用が妥当 | 76 | 35 | 28 | 11 | 6 | 3 | 17 | 3 | 5 | 31 | 6 | 2 |
| 事業者のサポートが良い | 123 | 55 | 43 | 8 | 2 | 2 | 9 | 1 | 5 | 39 | 7 | 5 |
| 認定されているため | 66 | 37 | 40 | 10 | 5 | 5 | 18 | 6 | 5 | 41 | 8 | 3 |
| 他のツールと比較して総合的に優れているため | 68 | 22 | 13 | 8 | 3 | 0 | 15 | 2 | 1 | 30 | 3 | 2 |
| 定期考査など他の方法では不十分であるため | 54 | 19 | 17 | 5 | 0 | 0 | 6 | 3 | 1 | 29 | 3 | 2 |
| その他 | 15 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 6 | 1 | 2 | 10 | 0 | 0 |

Q6. 卒業後の進路別の回答%

| | 短大・専門 大学進学 | | | 短大・専門 大学進学 | | | 短大・専門 大学進学 | | | 短大・専門 大学進学 | | |
|-------------------------|---------------|-----------|-----------|---------------|--------|--------|---------------|-----------|-----------|---------------|--------|--------|
| | 認定ツール【3教科】 | 認定ツール【国語】 | 認定ツール【数学】 | 認定ツール【英語】 | 就職 | 大学進学 | 認定ツール【3教科】 | 認定ツール【国語】 | 認定ツール【数学】 | 認定ツール【英語】 | 就職 | 大学進学 |
| 自校の生徒の学力に合っている | 60.1 | 73.2 | 75.5 | 51.2 | 56.5 | 63.2 | 44.3 | 56.8 | 51.5 | 52.3 | 48.4 | 50.0 |
| 関連する教材（事前事後の）がある | 37.7 | 51.0 | 53.1 | 30.2 | 43.5 | 42.1 | 20.5 | 29.7 | 27.3 | 26.4 | 29.0 | 25.0 |
| 検定結果が生徒へのフィードバックとして役立つ | 71.4 | 60.1 | 60.5 | 44.2 | 52.2 | 42.1 | 51.1 | 43.2 | 45.5 | 70.5 | 54.8 | 50.0 |
| 教員の指導力向上につながる | 30.0 | 19.0 | 17.7 | 18.6 | 4.3 | 21.1 | 13.6 | 10.8 | 9.1 | 22.8 | 16.1 | 33.3 |
| 学校のPDCAにつながる | 29.2 | 19.0 | 24.5 | 23.3 | 4.3 | 10.5 | 12.5 | 2.7 | 9.1 | 22.8 | 0.0 | 33.3 |
| 検定内容がスクールポリシーに合っている | 9.1 | 7.2 | 7.5 | 20.9 | 13.0 | 10.5 | 10.2 | 16.2 | 9.1 | 12.4 | 3.2 | 25.0 |
| 受検形態（受検回数、受検場所など）が合っている | 36.3 | 22.2 | 33.3 | 41.9 | 30.4 | 36.8 | 34.1 | 16.2 | 36.4 | 32.6 | 22.6 | 41.7 |
| 検定費用が妥当 | 21.5 | 22.9 | 19.0 | 25.6 | 26.1 | 15.8 | 19.3 | 8.1 | 15.2 | 16.1 | 19.4 | 16.7 |
| 事業者のサポートが良い | 34.8 | 35.9 | 29.3 | 18.6 | 8.7 | 10.5 | 10.2 | 2.7 | 15.2 | 20.2 | 22.6 | 41.7 |
| 認定されているため | 18.7 | 24.2 | 27.2 | 23.3 | 21.7 | 26.3 | 20.5 | 16.2 | 15.2 | 21.2 | 25.8 | 25.0 |
| 他のツールと比較して総合的に優れているため | 19.3 | 14.4 | 8.8 | 18.6 | 13.0 | 0.0 | 17.0 | 5.4 | 3.0 | 15.5 | 9.7 | 16.7 |
| 定期考査など他の方法では不十分であるため | 15.3 | 12.4 | 11.6 | 11.6 | 0.0 | 0.0 | 6.8 | 8.1 | 3.0 | 15.0 | 9.7 | 16.7 |
| その他 | 4.2 | 2.0 | 2.0 | 7.0 | 4.3 | 5.3 | 6.8 | 2.7 | 6.1 | 5.2 | 0.0 | 0.0 |
| | (n=353) | (n=153) | (n=147) | (n=43) | (n=23) | (n=19) | (n=88) | (n=37) | (n=33) | (n=193) | (n=31) | (n=12) |



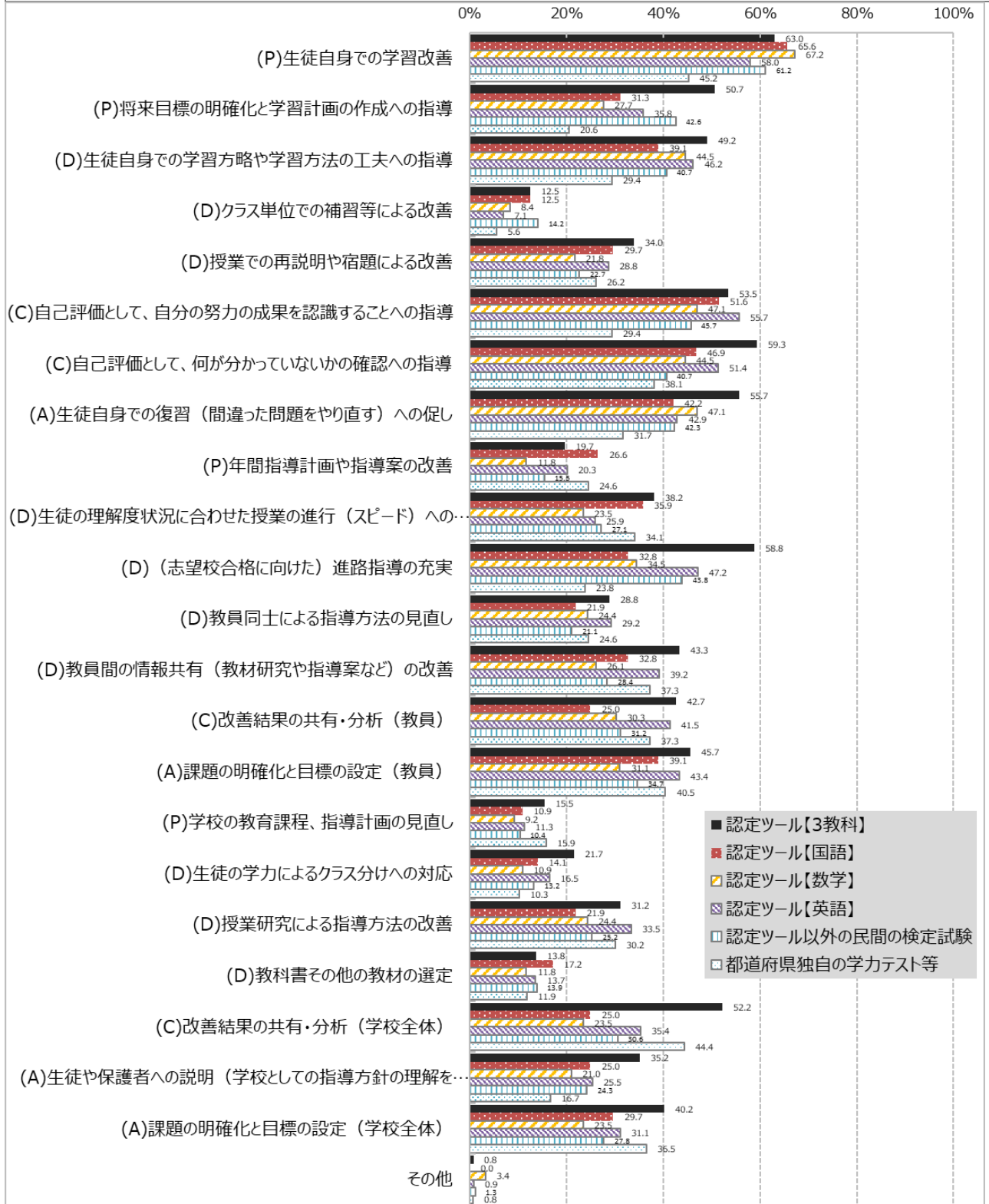
| | 回答数 | | | | | 回答% | | | | | 計 | 活用でき ている | 活用でき ていない | | | |
|-----------------|----------------|---------------|---------------------|----------------------|-----------------------------|----------------|---------------|---------------------|----------------------|-----------------------------|------|-------------|--------------|-------|------|------|
| | 十分に活用 できている | 一部活用 できている | あまり活用 できて いない | ほとんど 活用でき ていない | 結果の活用 状況を 把握して いない | 十分に活用 できている | 一部活用 できている | あまり活用 できて いない | ほとんど 活用でき ていない | 結果の活用 状況を 把握して いない | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ①+② | ③+④ | | | | | | | | | |
| 認定ツール【3教科分】 | 284 | 316 | 48 | 8 | 4 | 660 | 600 | 56 | 43.0 | 47.9 | 7.3 | 1.2 | 0.6 | 100.0 | 90.9 | 8.5 |
| 認定ツール【国語】 | 30 | 34 | 12 | 6 | 4 | 86 | 64 | 18 | 34.9 | 39.5 | 14.0 | 7.0 | 4.7 | 100.0 | 74.4 | 20.9 |
| 認定ツール【数学】 | 37 | 82 | 24 | 9 | 7 | 159 | 119 | 33 | 23.3 | 51.6 | 15.1 | 5.7 | 4.4 | 100.0 | 74.8 | 20.8 |
| 認定ツール【英語】 | 102 | 110 | 16 | 3 | 5 | 236 | 212 | 19 | 43.2 | 46.6 | 6.8 | 1.3 | 2.1 | 100.0 | 89.8 | 8.1 |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 119 | 198 | 31 | 14 | 14 | 376 | 317 | 45 | 31.6 | 52.7 | 8.2 | 3.7 | 3.7 | 100.0 | 84.3 | 12.0 |
| 都道府県独自の学カテスト等 | 54 | 72 | 21 | 14 | 7 | 168 | 126 | 35 | 32.1 | 42.9 | 12.5 | 8.3 | 4.2 | 100.0 | 75.0 | 20.8 |

認定ツールを「活用できている」（①「十分に活用できている」と②「一部活用できている」）との回答率は、「3教科」が90.9%、「国語」が74.4%、「数学」が74.8%、「英語」が89.8%となっている。

Q14. 認定ツール等を「十分に活用できている」または「一部活用できている」と選択された方にお聞きしています。診断結果として、活用できている内容を選択してください。

※選択肢内のPDCAは、P（Plan：計画）、D（Do：実施）、C（Check：結果確認）、A（Action：結果への対処/行動）を指します。この一連の活動を繰り返し、継続的な改善を行うことで、教育のPDCAサイクルを確立するとしています。

（必須入力、複数選択）



| | 回答数 | | | | | | 回答% | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|---------------------------|
| | 認定ツール 【3教科】 | 認定ツール 【国語】 | 認定ツール 【数学】 | 認定ツール 【英語】 | 認定ツール以外の 民間の検 定試験 | 都道府県 独自の学 力テスト 等 | 認定ツール 【3教科】 | 認定ツール 【国語】 | 認定ツール 【数学】 | 認定ツール 【英語】 | 認定ツール以外の 民間の検 定試験 | 都道府県 独自の学 力テスト 等 |
| 01.(P)生徒自身での学習改善 | 378 | 42 | 80 | 123 | 194 | 57 | 63.0 | 65.6 | 67.2 | 58.0 | 61.2 | 45.2 |
| 02.(P)将来目標の明確化と学習計画の作成への指導 | 304 | 20 | 33 | 76 | 135 | 26 | 50.7 | 31.3 | 27.7 | 35.8 | 42.6 | 20.6 |
| 03.(D)生徒自身での学習方略や学習方法の工夫への指導 | 295 | 25 | 53 | 98 | 129 | 37 | 49.2 | 39.1 | 44.5 | 46.2 | 40.7 | 29.4 |
| 04.(D)クラス単位での補習等による改善 | 75 | 8 | 10 | 15 | 45 | 7 | 12.5 | 12.5 | 8.4 | 7.1 | 14.2 | 5.6 |
| 05.(D)授業での再説明や宿題による改善 | 204 | 19 | 26 | 61 | 72 | 33 | 34.0 | 29.7 | 21.8 | 28.8 | 22.7 | 26.2 |
| 06.(C)自己評価として、自分の努力の成果を認識することへの指導 | 321 | 33 | 56 | 118 | 145 | 37 | 53.5 | 51.6 | 47.1 | 55.7 | 45.7 | 29.4 |
| 07.(C)自己評価として、何が分かっていないかの確認への指導 | 356 | 30 | 53 | 109 | 129 | 48 | 59.3 | 46.9 | 44.5 | 51.4 | 40.7 | 38.1 |
| 08.(A)生徒自身での復習（間違った問題をやり直す）への促し | 334 | 27 | 56 | 91 | 134 | 40 | 55.7 | 42.2 | 47.1 | 42.9 | 42.3 | 31.7 |
| 平均(01~08) | 283 | 26 | 46 | 86 | 123 | 36 | 47.2 | 39.8 | 38.6 | 40.7 | 38.8 | 28.3 |
| 09.(P)年間指導計画や指導案の改善 | 118 | 17 | 14 | 43 | 49 | 31 | 19.7 | 26.6 | 11.8 | 20.3 | 15.5 | 24.6 |
| 10.(D)生徒の理解度状況に合わせた授業の進行（スピード）への改善 | 229 | 23 | 28 | 55 | 86 | 43 | 38.2 | 35.9 | 23.5 | 25.9 | 27.1 | 34.1 |
| 11.(D)（志望校合格に向けた）進路指導の充実 | 353 | 21 | 41 | 100 | 139 | 30 | 58.8 | 32.8 | 34.5 | 47.2 | 43.8 | 23.8 |
| 12.(D)教員同士による指導方法の見直し | 173 | 14 | 29 | 62 | 67 | 31 | 28.8 | 21.9 | 24.4 | 29.2 | 21.1 | 24.6 |
| 13.(D)教員間の情報共有（教材研究や指導案など）の改善 | 260 | 21 | 31 | 83 | 90 | 47 | 43.3 | 32.8 | 26.1 | 39.2 | 28.4 | 37.3 |
| 14.(C)改善結果の共有・分析（教員） | 256 | 16 | 36 | 88 | 99 | 47 | 42.7 | 25.0 | 30.3 | 41.5 | 31.2 | 37.3 |
| 15.(A)課題の明確化と目標の設定（教員） | 274 | 25 | 37 | 92 | 110 | 51 | 45.7 | 39.1 | 31.1 | 43.4 | 34.7 | 40.5 |
| 平均(09~15) | 238 | 20 | 31 | 75 | 91 | 40 | 39.6 | 30.6 | 25.9 | 35.2 | 28.8 | 31.7 |
| 16.(P)学校の教育課程、指導計画の見直し | 93 | 7 | 11 | 24 | 33 | 20 | 15.5 | 10.9 | 9.2 | 11.3 | 10.4 | 15.9 |
| 17.(D)生徒の学力によるクラス分けへの対応 | 130 | 9 | 13 | 35 | 42 | 13 | 21.7 | 14.1 | 10.9 | 16.5 | 13.2 | 10.3 |
| 18.(D)授業研究による指導方法の改善 | 187 | 14 | 29 | 71 | 80 | 38 | 31.2 | 21.9 | 24.4 | 33.5 | 25.2 | 30.2 |
| 19.(D)教科書その他の教材の選定 | 83 | 11 | 14 | 29 | 44 | 15 | 13.8 | 17.2 | 11.8 | 13.7 | 13.9 | 11.9 |
| 20.(C)改善結果の共有・分析（学校全体） | 313 | 16 | 28 | 75 | 97 | 56 | 52.2 | 25.0 | 23.5 | 35.4 | 30.6 | 44.4 |
| 21.(A)生徒や保護者への説明（学校としての指導方針の理解を促す等） | 211 | 16 | 25 | 54 | 77 | 21 | 35.2 | 25.0 | 21.0 | 25.5 | 24.3 | 16.7 |
| 22.(A)課題の明確化と目標の設定（学校全体） | 241 | 19 | 28 | 66 | 88 | 46 | 40.2 | 29.7 | 23.5 | 31.1 | 27.8 | 36.5 |
| 平均(16~22) | 180 | 13 | 21 | 51 | 66 | 30 | 30.0 | 20.5 | 17.8 | 23.9 | 20.8 | 23.7 |
| 23.その他 | 5 | 0 | 4 | 2 | 4 | 1 | 0.8 | 0.0 | 3.4 | 0.9 | 1.3 | 0.8 |
| | | | | | | | 認定ツール等を「活用できている」回答数 (n=600) | (n=64) | (n=119) | (n=212) | (n=317) | (n=126) |

上表は認定ツール等を活用できている内容における 23 つの選択項目である。01～08 は生徒の PDCA、09～15 は教員の PDCA、16～22 は学校の PDCA である。各平均をみると認定ツールは全て、生徒の PDCA が最も回答%が多く、次いで教員の PDCA、次に学校の PDCA の順となっている。

生徒の PDCA のうち、全ての認定ツール等において「01.(P)生徒自身での学習改善」の回答%が最も多く、同項は全セル（全認定ツール等の全 23 項目）のうち最も回答%が多い。教員の PDCA では「11.(D)（志望校合格に向けた）進路指導の充実」は「3 教科」「数学」「英語」「認定ツール以外の民間の検定試験」で最も回答%が多い。学校の PDCA では「20.(C)改善結果の共有・分析（学校全体）」は「3 教科」「数学」「英語」「認定ツール以外の民間の検定試験」「都道府県独自の学力テスト等」で最も回答%が多い。

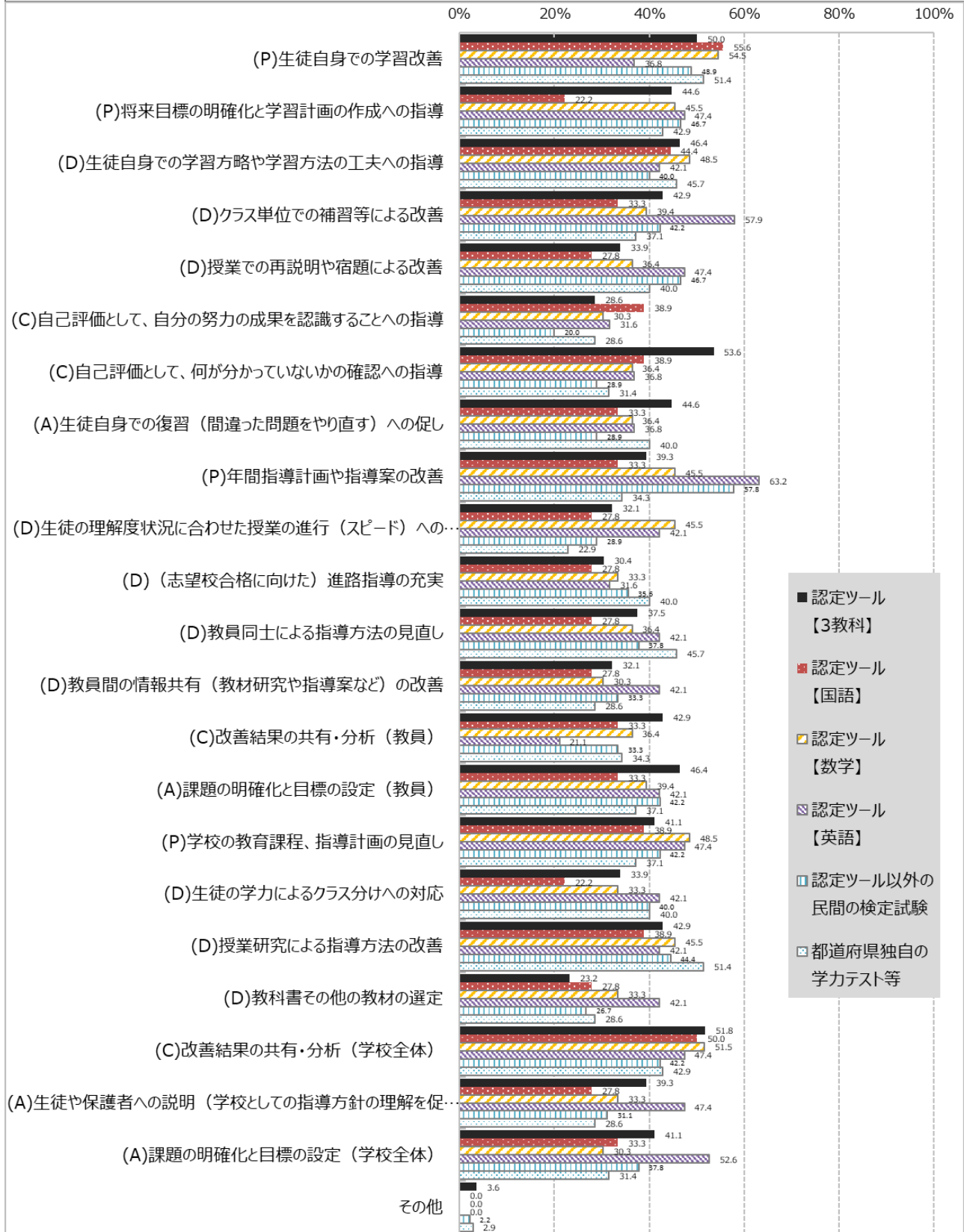
回答数が際立って多い「3 教科」においては、「01.(P)生徒自身での学習改善」63.0%、「07.(C)自己評価として、何が分かっていないかの確認への指導」59.3%、「11.(D)（志望校合格に向けた）進路指導の充実」58.8%の順で回答%が多い。

「その他」の自由記述には、22 項の活用できている内容以外として、「課題の明確化と目標の設定（学年）（3 教科）」、「生徒の就職指導、3 教科」、「生徒の自主性を育てる、数学」、「単位認定（3 教科、数学、英語）」、「進路実現に向けての過程として、（3 教科、英語）」との記載が見られた。

Q15. 認定ツール等を「あまり活用できていない」または「ほとんど活用できていない」と選択された方にお聞きしています。診断結果として、活用できていない内容を選択してください。

※選択肢内のPDCAは、P（Plan：計画）、D（Do：実施）、C（Check：結果確認）、A（Action：結果への対処/行動）を指します。この一連の活動を繰り返し、継続的な改善を行うことで、教育のPDCAサイクルを確立するとしています。

（必須入力、複数選択）



| | 回答数 | | | | | | 回答% | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|-----------------------------|---------------------------|
| | 認定ツール 【3教科】 | 認定ツール 【国語】 | 認定ツール 【数学】 | 認定ツール 【英語】 | 認定ツール 以外の 民間の検 定試験 | 都道府県 独自の学 力テスト 等 | 認定ツール 【3教科】 | 認定ツール 【国語】 | 認定ツール 【数学】 | 認定ツール 【英語】 | 認定ツール 以外の 民間の検 定試験 | 都道府県 独自の学 力テスト 等 |
| 01.(P)生徒自身での学習改善 | 28 | 10 | 18 | 7 | 22 | 18 | 50.0 | 55.6 | 54.5 | 36.8 | 48.9 | 51.4 |
| 02.(P)将来目標の明確化と学習計画の作成への指導 | 25 | 4 | 15 | 9 | 21 | 15 | 44.6 | 22.2 | 45.5 | 47.4 | 46.7 | 42.9 |
| 03.(D)生徒自身での学習方略や学習方法の工夫への指導 | 26 | 8 | 16 | 8 | 18 | 16 | 46.4 | 44.4 | 48.5 | 42.1 | 40.0 | 45.7 |
| 04.(D)クラス単位での補習等による改善 | 24 | 6 | 13 | 11 | 19 | 13 | 42.9 | 33.3 | 39.4 | 57.9 | 42.2 | 37.1 |
| 05.(D)授業での再説明や宿題による改善 | 19 | 5 | 12 | 9 | 21 | 14 | 33.9 | 27.8 | 36.4 | 47.4 | 46.7 | 40.0 |
| 06.(C)自己評価として、自分の努力の成果を認識することへの指導 | 16 | 7 | 10 | 6 | 9 | 10 | 28.6 | 38.9 | 30.3 | 31.6 | 20.0 | 28.6 |
| 07.(C)自己評価として、何が分かっていないかの確認への指導 | 30 | 7 | 12 | 7 | 13 | 11 | 53.6 | 38.9 | 36.4 | 36.8 | 28.9 | 31.4 |
| 08.(A)生徒自身での復習（間違った問題をやり直す）への促し | 25 | 6 | 12 | 7 | 13 | 14 | 44.6 | 33.3 | 36.4 | 36.8 | 28.9 | 40.0 |
| 平均(01~08) | 24 | 7 | 14 | 8 | 17 | 14 | 43.1 | 36.8 | 40.9 | 42.1 | 37.8 | 39.6 |
| 09.(P)年間指導計画や指導案の改善 | 22 | 6 | 15 | 12 | 26 | 12 | 39.3 | 33.3 | 45.5 | 63.2 | 57.8 | 34.3 |
| 10.(D)生徒の理解度状況に合わせた授業の進行（スピード）への改善 | 18 | 5 | 15 | 8 | 13 | 8 | 32.1 | 27.8 | 45.5 | 42.1 | 28.9 | 22.9 |
| 11.(D)（志望校合格に向けた）進路指導の充実 | 17 | 5 | 11 | 6 | 16 | 14 | 30.4 | 27.8 | 33.3 | 31.6 | 35.6 | 40.0 |
| 12.(D)教員同士による指導方法の見直し | 21 | 5 | 12 | 8 | 17 | 16 | 37.5 | 27.8 | 36.4 | 42.1 | 37.8 | 45.7 |
| 13.(D)教員間の情報共有（教材研究や指導案など）の改善 | 18 | 5 | 10 | 8 | 15 | 10 | 32.1 | 27.8 | 30.3 | 42.1 | 33.3 | 28.6 |
| 14.(C)改善結果の共有・分析（教員） | 24 | 6 | 12 | 4 | 15 | 12 | 42.9 | 33.3 | 36.4 | 21.1 | 33.3 | 34.3 |
| 15.(A)課題の明確化と目標の設定（教員） | 26 | 6 | 13 | 8 | 19 | 13 | 46.4 | 33.3 | 39.4 | 42.1 | 42.2 | 37.1 |
| 平均(09~15) | 21 | 5 | 13 | 8 | 17 | 12 | 37.2 | 30.2 | 38.1 | 40.6 | 38.4 | 34.7 |
| 16.(P)学校の教育課程、指導計画の見直し | 23 | 7 | 16 | 9 | 19 | 13 | 41.1 | 38.9 | 48.5 | 47.4 | 42.2 | 37.1 |
| 17.(D)生徒の学力によるクラス分けへの対応 | 19 | 4 | 11 | 8 | 18 | 14 | 33.9 | 22.2 | 33.3 | 42.1 | 40.0 | 40.0 |
| 18.(D)授業研究による指導方法の改善 | 24 | 7 | 15 | 8 | 20 | 18 | 42.9 | 38.9 | 45.5 | 42.1 | 44.4 | 51.4 |
| 19.(D)教科書その他の教材の選定 | 13 | 5 | 11 | 8 | 12 | 10 | 23.2 | 27.8 | 33.3 | 42.1 | 26.7 | 28.6 |
| 20.(C)改善結果の共有・分析（学校全体） | 29 | 9 | 17 | 9 | 19 | 15 | 51.8 | 50.0 | 51.5 | 47.4 | 42.2 | 42.9 |
| 21.(A)生徒や保護者への説明（学校としての指導方針の理解を促す等） | 22 | 5 | 11 | 9 | 14 | 10 | 39.3 | 27.8 | 33.3 | 47.4 | 31.1 | 28.6 |
| 22.(A)課題の明確化と目標の設定（学校全体） | 23 | 6 | 10 | 10 | 17 | 11 | 41.1 | 33.3 | 30.3 | 52.6 | 37.8 | 31.4 |
| 平均(16~22) | 22 | 6 | 13 | 9 | 17 | 13 | 39.0 | 34.1 | 39.4 | 45.9 | 37.8 | 37.1 |
| 23.その他 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 2.9 |
| | | | | | | | 認定ツール等を「活用できていない」回答数 (n=56) | (n=18) | (n=33) | (n=19) | (n=45) | (n=35) |

上表は認定ツール等を活用できていない内容における 23 つの選択項目である。（前述と同様に）01～08 は生徒の PDCA、09～15 は教員の PDCA、16～22 は学校の PDCA である。

回答数が一定程度見られる「3 教科」においては、「07.(C)自己評価として、何が分かっていないかの確認への指導」53.6%、「20.(C)改善結果の共有・分析（学校全体）」51.8%、「01.(P)生徒自身での学習改善」50.0%の順で回答%が多い。

Q16. 認定ツール等を利用している課程・学科を選択してください。
 また入学時にコース分けを実施している等、コースの別がある場合は合わせて選択してください。
 （必須入力、複数選択）

| | 回答数 | | | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|------|------|--------|
| | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 普通科 | 専門学科 | 総合学科 | コース別利用 |
| 【3教科】認定ツール1 | 243 | 10 | 0 | 100 | 126 | 28 | 18 |
| 【3教科】認定ツール2 | 152 | 5 | 0 | 82 | 61 | 14 | 30 |
| 【3教科】認定ツール3 | 336 | 3 | 1 | 225 | 79 | 15 | 28 |
| 【3教科】認定ツール4 | 23 | 0 | 0 | 13 | 7 | 0 | 2 |
| 【3教科】認定ツール5 | 333 | 2 | 3 | 219 | 64 | 13 | 49 |
| 【3教科】認定ツール6 | 43 | 1 | 1 | 25 | 15 | 2 | 8 |
| 【3教科】認定ツール7 | 55 | 0 | 1 | 36 | 18 | 3 | 8 |
| 【3教科】認定ツール8 | 11 | 2 | 0 | 6 | 5 | 1 | 1 |
| 【国語】認定ツール1 | 31 | 2 | 0 | 17 | 6 | 1 | 2 |
| 【国語】認定ツール2 | 47 | 4 | 0 | 26 | 14 | 1 | 1 |
| 【国語】認定ツール3 | 45 | 3 | 0 | 25 | 12 | 0 | 1 |
| 【国語】認定ツール4 | 28 | 0 | 0 | 15 | 6 | 0 | 5 |
| 【国語】認定ツール5 | 21 | 0 | 0 | 13 | 6 | 0 | 2 |
| 【数学】認定ツール1 | 132 | 1 | 0 | 81 | 36 | 8 | 9 |
| 【数学】認定ツール2 | 140 | 1 | 0 | 85 | 38 | 8 | 9 |
| 【数学】認定ツール3 | 5 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 【数学】認定ツール4 | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 【数学】認定ツール5 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール1 | 216 | 1 | 0 | 143 | 52 | 9 | 18 |
| 【英語】認定ツール2 | 22 | 1 | 0 | 11 | 9 | 0 | 2 |
| 【英語】認定ツール3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール4 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール5 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール6 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール7 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 343 | 12 | 5 | 185 | 126 | 22 | 27 |
| 都道府県独自の学力テスト等 | 154 | 16 | 0 | 84 | 51 | 7 | 6 |

| | 回答% | | | | | | | |
|-----------------|------|------|-----|------|------|------|--------|---------|
| | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 普通科 | 専門学科 | 総合学科 | コース別利用 | |
| Q2の回答%→ | 88.7 | 9.9 | 1.8 | 45.5 | 29.5 | 5.7 | 7.6 | |
| 【3教科】認定ツール1 | 88.7 | 3.6 | 0.0 | 36.5 | 46.0 | 10.2 | 6.6 | (n=274) |
| 【3教科】認定ツール2 | 86.4 | 2.8 | 0.0 | 46.6 | 34.7 | 8.0 | 17.0 | (n=176) |
| 【3教科】認定ツール3 | 94.1 | 0.8 | 0.3 | 63.0 | 22.1 | 4.2 | 7.8 | (n=357) |
| 【3教科】認定ツール4 | 95.8 | 0.0 | 0.0 | 54.2 | 29.2 | 0.0 | 8.3 | (n=24) |
| 【3教科】認定ツール5 | 93.8 | 0.6 | 0.8 | 61.7 | 18.0 | 3.7 | 13.8 | (n=355) |
| 【3教科】認定ツール6 | 82.7 | 1.9 | 1.9 | 48.1 | 28.8 | 3.8 | 15.4 | (n=52) |
| 【3教科】認定ツール7 | 88.7 | 0.0 | 1.6 | 58.1 | 29.0 | 4.8 | 12.9 | (n=62) |
| 【3教科】認定ツール8 | 73.3 | 13.3 | 0.0 | 40.0 | 33.3 | 6.7 | 6.7 | (n=15) |
| 【国語】認定ツール1 | 86.1 | 5.6 | 0.0 | 47.2 | 16.7 | 2.8 | 5.6 | (n=36) |
| 【国語】認定ツール2 | 85.5 | 7.3 | 0.0 | 47.3 | 25.5 | 1.8 | 1.8 | (n=55) |
| 【国語】認定ツール3 | 90.0 | 6.0 | 0.0 | 50.0 | 24.0 | 0.0 | 2.0 | (n=50) |
| 【国語】認定ツール4 | 87.5 | 0.0 | 0.0 | 46.9 | 18.8 | 0.0 | 15.6 | (n=32) |
| 【国語】認定ツール5 | 91.3 | 0.0 | 0.0 | 56.5 | 26.1 | 0.0 | 8.7 | (n=23) |
| 【数学】認定ツール1 | 91.0 | 0.7 | 0.0 | 55.9 | 24.8 | 5.5 | 6.2 | (n=145) |
| 【数学】認定ツール2 | 91.5 | 0.7 | 0.0 | 55.6 | 24.8 | 5.2 | 5.9 | (n=153) |
| 【数学】認定ツール3 | 83.3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | (n=6) |
| 【数学】認定ツール4 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | (n=5) |
| 【数学】認定ツール5 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | (n=5) |
| 【英語】認定ツール1 | 96.0 | 0.4 | 0.0 | 63.6 | 23.1 | 4.0 | 8.0 | (n=225) |
| 【英語】認定ツール2 | 95.7 | 4.3 | 0.0 | 47.8 | 39.1 | 0.0 | 8.7 | (n=23) |
| 【英語】認定ツール3 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | (n=3) |
| 【英語】認定ツール4 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | (n=3) |
| 【英語】認定ツール5 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | (n=3) |
| 【英語】認定ツール6 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | (n=4) |
| 【英語】認定ツール7 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | (n=4) |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 91.2 | 3.2 | 1.3 | 49.2 | 33.5 | 5.9 | 7.2 | (n=376) |
| 都道府県独自の学力テスト等 | 91.7 | 9.5 | 0.0 | 50.0 | 30.4 | 4.2 | 3.6 | (n=168) |

全ての認定ツール等において、課程のうち「全日制」での回答%が最も多い。また「【3教科】認定ツール1」は学科のうち「専門学科」が46.0%と回答%が多く、「【3教科】認定ツール2,3,5」、「【数学】認定ツール1,2」、「【英語】認定ツール1」は「普通科」が多い。

Q17. 認定ツール等の受検者について選択してください。

選択例) 1年生の全クラス→「1年生」と「全員」、1年生と2年生の1クラスのみ→「1年生」と「2年生」と「特定のクラス」

(必須入力、複数選択)

| | 回答数 | | | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----|-------|--------|-----|---------|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 希望者のみ | 特定のクラス | 全員 | 把握していない |
| [3教科]認定ツール1 | 212 | 196 | 126 | 10 | 29 | 140 | 1 |
| [3教科]認定ツール2 | 99 | 110 | 94 | 36 | 45 | 42 | 1 |
| [3教科]認定ツール3 | 291 | 254 | 128 | 7 | 45 | 170 | 1 |
| [3教科]認定ツール4 | 18 | 16 | 3 | 1 | 4 | 5 | 2 |
| [3教科]認定ツール5 | 259 | 264 | 186 | 82 | 77 | 124 | 4 |
| [3教科]認定ツール6 | 32 | 20 | 12 | 7 | 9 | 20 | 2 |
| [3教科]認定ツール7 | 43 | 37 | 16 | 5 | 12 | 22 | 1 |
| [3教科]認定ツール8 | 7 | 7 | 6 | 1 | 3 | 7 | 1 |
| [国語]認定ツール1 | 9 | 9 | 5 | 28 | 1 | 3 | 1 |
| [国語]認定ツール2 | 20 | 20 | 14 | 40 | 2 | 2 | 1 |
| [国語]認定ツール3 | 17 | 18 | 14 | 40 | 1 | 2 | 1 |
| [国語]認定ツール4 | 15 | 11 | 7 | 11 | 2 | 5 | 2 |
| [国語]認定ツール5 | 5 | 9 | 5 | 10 | 1 | 3 | 0 |
| [数学]認定ツール1 | 42 | 38 | 35 | 129 | 4 | 3 | 2 |
| [数学]認定ツール2 | 45 | 46 | 41 | 135 | 4 | 3 | 2 |
| [数学]認定ツール3 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 |
| [数学]認定ツール4 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 |
| [数学]認定ツール5 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| [英語]認定ツール1 | 163 | 162 | 67 | 47 | 24 | 88 | 3 |
| [英語]認定ツール2 | 12 | 13 | 9 | 6 | 2 | 10 | 1 |
| [英語]認定ツール3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| [英語]認定ツール4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| [英語]認定ツール5 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| [英語]認定ツール6 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 |
| [英語]認定ツール7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 169 | 167 | 143 | 208 | 39 | 83 | 14 |
| 都道府県独自の学カテスト等 | 112 | 89 | 28 | 9 | 9 | 67 | 6 |

| | 回答% | | | | | | | |
|-----------------|------|------|------|-------|--------|------|---------|---------|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 希望者のみ | 特定のクラス | 全員 | 把握していない | |
| [3教科]認定ツール1 | 77.4 | 71.5 | 46.0 | 3.6 | 10.6 | 51.1 | 0.4 | (n=274) |
| [3教科]認定ツール2 | 56.3 | 62.5 | 53.4 | 20.5 | 25.6 | 23.9 | 0.6 | (n=176) |
| [3教科]認定ツール3 | 81.5 | 71.1 | 35.9 | 2.0 | 12.6 | 47.6 | 0.3 | (n=357) |
| [3教科]認定ツール4 | 75.0 | 66.7 | 12.5 | 4.2 | 16.7 | 20.8 | 8.3 | (n=24) |
| [3教科]認定ツール5 | 73.0 | 74.4 | 52.4 | 23.1 | 21.7 | 34.9 | 1.1 | (n=355) |
| [3教科]認定ツール6 | 61.5 | 38.5 | 23.1 | 13.5 | 17.3 | 38.5 | 3.8 | (n=52) |
| [3教科]認定ツール7 | 69.4 | 59.7 | 25.8 | 8.1 | 19.4 | 35.5 | 1.6 | (n=62) |
| [3教科]認定ツール8 | 46.7 | 46.7 | 40.0 | 6.7 | 20.0 | 46.7 | 6.7 | (n=15) |
| [国語]認定ツール1 | 25.0 | 25.0 | 13.9 | 77.8 | 2.8 | 8.3 | 2.8 | (n=36) |
| [国語]認定ツール2 | 36.4 | 36.4 | 25.5 | 72.7 | 3.6 | 3.6 | 1.8 | (n=55) |
| [国語]認定ツール3 | 34.0 | 36.0 | 28.0 | 80.0 | 2.0 | 4.0 | 2.0 | (n=50) |
| [国語]認定ツール4 | 46.9 | 34.4 | 21.9 | 34.4 | 6.3 | 15.6 | 6.3 | (n=32) |
| [国語]認定ツール5 | 21.7 | 39.1 | 21.7 | 43.5 | 4.3 | 13.0 | 0.0 | (n=23) |
| [数学]認定ツール1 | 29.0 | 26.2 | 24.1 | 89.0 | 2.8 | 2.1 | 1.4 | (n=145) |
| [数学]認定ツール2 | 29.4 | 30.1 | 26.8 | 88.2 | 2.6 | 2.0 | 1.3 | (n=153) |
| [数学]認定ツール3 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | (n=6) |
| [数学]認定ツール4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | (n=5) |
| [数学]認定ツール5 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (n=5) |
| [英語]認定ツール1 | 72.4 | 72.0 | 29.8 | 20.9 | 10.7 | 39.1 | 1.3 | (n=225) |
| [英語]認定ツール2 | 52.2 | 56.5 | 39.1 | 26.1 | 8.7 | 43.5 | 4.3 | (n=23) |
| [英語]認定ツール3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (n=3) |
| [英語]認定ツール4 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (n=3) |
| [英語]認定ツール5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (n=3) |
| [英語]認定ツール6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | (n=4) |
| [英語]認定ツール7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | (n=4) |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 44.9 | 44.4 | 38.0 | 55.3 | 10.4 | 22.1 | 3.7 | (n=376) |
| 都道府県独自の学カテスト等 | 66.7 | 53.0 | 16.7 | 5.4 | 5.4 | 39.9 | 3.6 | (n=168) |

受検者について、「【3教科】認定ツール1,3,5」および「【英語】認定ツール1」は「1年生」と「2年生」が71.5～81.5%で「全員」が51.1%の回答%である。「【3教科】認定ツール2」は全学年にて53.4～62.5%の幅で「特定クラス」が25.6%と「全員」よりも回答%が多くなっている。「【数学】認定ツール1,2」は「希望者のみ」の回答%が88.2%,89.0%と特に多い。

Q18. 認定ツール等の受検形態について選択してください。※複数選択可

下表の選択項目の「8 把握していない」は、生徒個人として受検していて、受検回数や受検場所を把握されていないケース等を想定しています。

(必須入力、複数選択)

| | 回答数 | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------|---------|-----|-----------|-----------|-------------|-----|---------|--------------|-----|---------|
| | 学校として受検 | 個人として受検 | 計 | 受検回数は1回/年 | 受検回数は2回/年 | 受検回数は3回以上/年 | 計 | 受検場所は学校 | 受検場所は事業者指定会場 | 計 | 把握していない |
| 【3教科】認定ツール1 | 242 | 3 | 245 | 68 | 99 | 63 | 230 | 169 | 1 | 170 | 3 |
| 【3教科】認定ツール2 | 137 | 15 | 152 | 68 | 40 | 28 | 136 | 113 | 0 | 113 | 4 |
| 【3教科】認定ツール3 | 330 | 1 | 331 | 148 | 124 | 14 | 286 | 229 | 0 | 229 | 1 |
| 【3教科】認定ツール4 | 19 | 0 | 19 | 4 | 2 | 8 | 14 | 10 | 0 | 10 | 2 |
| 【3教科】認定ツール5 | 303 | 28 | 331 | 38 | 57 | 194 | 289 | 245 | 3 | 248 | 2 |
| 【3教科】認定ツール6 | 38 | 5 | 43 | 11 | 18 | 3 | 32 | 21 | 0 | 21 | 6 |
| 【3教科】認定ツール7 | 52 | 3 | 55 | 15 | 30 | 2 | 47 | 32 | 0 | 32 | 5 |
| 【3教科】認定ツール8 | 13 | 0 | 13 | 9 | 3 | 0 | 12 | 10 | 0 | 10 | 1 |
| 【国語】認定ツール1 | 21 | 9 | 30 | 8 | 10 | 6 | 24 | 23 | 1 | 24 | 0 |
| 【国語】認定ツール2 | 28 | 19 | 47 | 11 | 13 | 10 | 34 | 37 | 1 | 38 | 0 |
| 【国語】認定ツール3 | 24 | 19 | 43 | 7 | 14 | 10 | 31 | 30 | 2 | 32 | 0 |
| 【国語】認定ツール4 | 23 | 4 | 27 | 21 | 0 | 0 | 21 | 18 | 0 | 18 | 2 |
| 【国語】認定ツール5 | 18 | 3 | 21 | 12 | 0 | 0 | 12 | 9 | 0 | 9 | 0 |
| 【数学】認定ツール1 | 56 | 60 | 116 | 24 | 46 | 28 | 98 | 93 | 4 | 97 | 0 |
| 【数学】認定ツール2 | 57 | 67 | 124 | 27 | 48 | 30 | 105 | 103 | 5 | 108 | 0 |
| 【数学】認定ツール3 | 5 | 0 | 5 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 【数学】認定ツール4 | 4 | 0 | 4 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 【数学】認定ツール5 | 4 | 1 | 5 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール1 | 193 | 17 | 210 | 129 | 48 | 7 | 184 | 149 | 2 | 151 | 1 |
| 【英語】認定ツール2 | 14 | 6 | 20 | 10 | 0 | 2 | 12 | 11 | 2 | 13 | 1 |
| 【英語】認定ツール3 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール4 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール5 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【英語】認定ツール6 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 【英語】認定ツール7 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 188 | 151 | 339 | 57 | 60 | 111 | 228 | 214 | 60 | 274 | 27 |

| | 回答% | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------|---------|-------|-----------|-----------|-------------|------|---------|--------------|------|-------------|
| | 学校として受検 | 個人として受検 | 計 | 受検回数は1回/年 | 受検回数は2回/年 | 受検回数は3回以上/年 | 計 | 受検場所は学校 | 受検場所は事業者指定会場 | 計 | 把握していない |
| 【3教科】認定ツール1 | 88.3 | 1.1 | 89.4 | 24.8 | 36.1 | 23.0 | 83.9 | 61.7 | 0.4 | 62.0 | 1.1 (n=274) |
| 【3教科】認定ツール2 | 77.8 | 8.5 | 86.4 | 38.6 | 22.7 | 15.9 | 77.3 | 64.2 | 0.0 | 64.2 | 2.3 (n=176) |
| 【3教科】認定ツール3 | 92.4 | 0.3 | 92.7 | 41.5 | 34.7 | 3.9 | 80.1 | 64.1 | 0.0 | 64.1 | 0.3 (n=357) |
| 【3教科】認定ツール4 | 79.2 | 0.0 | 79.2 | 16.7 | 8.3 | 33.3 | 58.3 | 41.7 | 0.0 | 41.7 | 8.3 (n=24) |
| 【3教科】認定ツール5 | 85.4 | 7.9 | 93.2 | 10.7 | 16.1 | 54.6 | 81.4 | 69.0 | 0.8 | 69.9 | 0.6 (n=355) |
| 【3教科】認定ツール6 | 73.1 | 9.6 | 82.7 | 21.2 | 34.6 | 5.8 | 61.5 | 40.4 | 0.0 | 40.4 | 11.5 (n=52) |
| 【3教科】認定ツール7 | 83.9 | 4.8 | 88.7 | 24.2 | 48.4 | 3.2 | 75.8 | 51.6 | 0.0 | 51.6 | 8.1 (n=62) |
| 【3教科】認定ツール8 | 86.7 | 0.0 | 86.7 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 80.0 | 66.7 | 0.0 | 66.7 | 6.7 (n=15) |
| 【国語】認定ツール1 | 58.3 | 25.0 | 83.3 | 22.2 | 27.8 | 16.7 | 66.7 | 63.9 | 2.8 | 66.7 | 0.0 (n=36) |
| 【国語】認定ツール2 | 50.9 | 34.5 | 85.5 | 20.0 | 23.6 | 18.2 | 61.8 | 67.3 | 1.8 | 69.1 | 0.0 (n=55) |
| 【国語】認定ツール3 | 48.0 | 38.0 | 86.0 | 14.0 | 28.0 | 20.0 | 62.0 | 60.0 | 4.0 | 64.0 | 0.0 (n=50) |
| 【国語】認定ツール4 | 71.9 | 12.5 | 84.4 | 65.6 | 0.0 | 0.0 | 65.6 | 56.3 | 0.0 | 56.3 | 6.3 (n=32) |
| 【国語】認定ツール5 | 78.3 | 13.0 | 91.3 | 52.2 | 0.0 | 0.0 | 52.2 | 39.1 | 0.0 | 39.1 | 0.0 (n=23) |
| 【数学】認定ツール1 | 38.6 | 41.4 | 80.0 | 16.6 | 31.7 | 19.3 | 67.6 | 64.1 | 2.8 | 66.9 | 0.0 (n=145) |
| 【数学】認定ツール2 | 37.3 | 43.8 | 81.0 | 17.6 | 31.4 | 19.6 | 68.6 | 67.3 | 3.3 | 70.6 | 0.0 (n=153) |
| 【数学】認定ツール3 | 83.3 | 0.0 | 83.3 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 0.0 (n=6) |
| 【数学】認定ツール4 | 80.0 | 0.0 | 80.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 (n=5) |
| 【数学】認定ツール5 | 80.0 | 20.0 | 100.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (n=5) |
| 【英語】認定ツール1 | 85.8 | 7.6 | 93.3 | 57.3 | 21.3 | 3.1 | 81.8 | 66.2 | 0.9 | 67.1 | 0.4 (n=225) |
| 【英語】認定ツール2 | 60.9 | 26.1 | 87.0 | 43.5 | 0.0 | 8.7 | 52.2 | 47.8 | 8.7 | 56.5 | 4.3 (n=23) |
| 【英語】認定ツール3 | 66.7 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (n=3) |
| 【英語】認定ツール4 | 66.7 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (n=3) |
| 【英語】認定ツール5 | 66.7 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (n=3) |
| 【英語】認定ツール6 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 (n=4) |
| 【英語】認定ツール7 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 (n=4) |
| 認定ツール以外の民間の検定試験 | 50.0 | 40.2 | 90.2 | 15.2 | 16.0 | 29.5 | 60.6 | 56.9 | 16.0 | 72.9 | 7.2 (n=376) |

「【3教科】認定ツール1,2,3,5」および「【英語】認定ツール1」は「学校として受検」との回答%が77.1%~92.4%であり、「【数学】認定ツール1,2」は「個人として受検」が41.4%~43.8%である。「【3教科】認定ツール2,3」および「【英語】認定ツール1」は「受検回数は1回/年」、「【3教科】認定ツール1」および「【数学】認定ツール1,2」は「受検回数は2回/年」、「【3教科】認定ツール5」は「受検回数は3回以上/年」の回答%が最も多い。認定ツールは「受検場所は事業者指定会場」との8.7%以下となっている。

Q19.基礎学力の把握や、基礎診断について、御意見がありましたら記載してください。

(任意入力、自由記述)

ご意見として記載があった全 78 件のうち、主な内容は次のとおり。文中 [] 内は回答校が利用している認定ツールの教科である。

【基礎学力:7 件】

(基礎学力の把握の重要性:2 件)

- ・基礎学力の把握は、生徒・教員ともに必要である。生徒は自己の基礎学力を客観的に知ることができ、学習意欲の向上や学習方法の改善に役立てることができる。教員も、生徒の力を知ることが指導上の第一歩となり、授業計画、授業内容、指導方法を考えるうえで必要となる。[3 教科、国語、英語]

(基礎学力について:3 件)

- ・一言で基礎学力といっても、いまひとつ分かりづらい。特に、自分の教科外のこととなると、ほとんどの方が明確に答えられないのではないのでしょうか。(中略) メーカーを超えたガイドライン(一覧になったもの)があると助かります。[全教科]

(義務教育段階の学力:2 件)

- ・高等学校入学段階で義務教育の基礎学力が身につけていないことが年々深刻に感じる。全国基準の学び直しや進路の基準をはかることができるツールがあることが望ましい。[3 教科]

【基礎診断制度:6 件】

- ・基礎力診断テストについては、基礎学力の指標として進路指導等の場面で活用している。学力下位層の底上げが課題である。[3 教科]
- ・認定ツールはあるものの、その実施が本来高校生で身につけさせたい基礎学力を把握するものになっているのか疑問。そもそも身につけさせたい基礎学力があるならば、全国共通のテストが存在すべきではないかと考える。[3 教科]
- ・大学(推薦入試等)では実用英語技能検定が重視される等、基礎診断の現在の位置付けが不明瞭のように感じています。[3 教科]

【認定ツール:18 件】

(認定ツールへの期待:4 件)

- ・本校生徒の実態に合わせた各教科のカリキュラムの作成や社会に出る準備としての基礎学力定着、基本的な生活習慣の改善を目的とした一つのルールとして、基礎診断が活用できることを期待している。[3 教科]

(認定ツールの改善:4 件)

- ・評価の基準が、診断テストによって異なるので、複数のテストの結果を分析しづらいので、指標があればよい。[3 教科、英語]
- ・学校のカリキュラムや授業進度と実施時期、試験内容が合わないため活用が難しい。[3 教科、英語]

(認定ツールの種類:10 件)

- ・専門高校用(主に進路は就職)の学び直し(小学校・中学校)も兼ねた基礎診断があると嬉しく思います。[3 教科]
- ・基礎学力もそうですが、応用力を総合的に診断できるツールが欲しいです。[3 教科]
- ・教科が国語、数学、英語に限られている。地理歴史、公民、理科も認定対象にしてほしい。

[3 教科]

- ・基礎学力等においては個人差があり、今後個々が自宅で取り組めるようなものを取り入れていきたいと考えている。(BYOD に向けて) さらに充実した基礎力を充実させるツールが必要。[3 教科]

【教員への支援など：8 件】

- ・各社工夫をして素晴らしい基礎学力とその診断ができる教材が出来ていると考えるが、その中から各学校・生徒に最適なものを見つけ出し対応していくのに時間と労力・費用がかかりすぎる。国の助成・研究等が進めば、各学校の状況にあったものが採用できると考える。[3 教科、英語]
- ・基礎学力が身についたか否かを、一律のものさしで測ることは困難であるように思いますが、いわゆる「基礎学力」を測るためのツールが複数あり、選択の余地をいただいていることについてはありがたいと感じています。(中略) 加えて、検定受検の外部会場が近隣に設けられていません。必然的に検定実施のための業務(監督、会場設営など)が学校にのしかかり、教員の負担となっていることはゆるがない事実です。けっして監督料の多寡の問題ではありません。[3 教科、英語]
- ・教員の指導力及び評価能力の向上が最も重要だと思います。[利用なし]

【フィードバック：10 件】

- ・個々の生徒の学力を教員間で共有し、学習指導に役立てている。[3 教科]
- ・この結果が、学校の成績や受験に直結しているわけではないので、教員・生徒とも、取り組むモチベーションを高めることに課題を感じている。具体的・効果的な活用方法を考えていかななくてはならないと感じている。[3 教科]
- ・全国の取り組みで参考になるものがありましたら提供していただくと学習指導の取り組みが円滑に進めることができると考えます。[3 教科、国語、数学]

【検定料の費用負担：14 件】

- ・保護者負担軽減の観点から検定料の値引き等を検討してほしい。[3 教科]
- ・大学入試等で利用するようになる場合は経済的負担の部分で不利益を被る生徒が出ない配慮をお願いしたい。[3 教科]
- ・基礎学力の把握については、日ごろの授業と定期テストで行う方が確実であると思う。大学受験に使う為には、業者に客観的な数値を出してもらう事はやむを得ない。ただ、その費用が高すぎる為、保護者の教育費にかけられる金額で進路に有利不利が生じるのが現状です。検定費用にも、補助金があれば嬉しいです。[3 教科、数学]
- ・定時制教育において経済面の負担は大きい。学び直しや外国人生徒が多いことから、普通の授業の中で、個別対応しながら基礎学力を把握し、個人にあった進路選択ができるよう指導している。[利用なし]

【その他、多様な生徒への対応など：15 件】

- ・小中学校での不登校、身体的障害、精神的困り感を抱えた子どもたちが多く入学してくる。そのため中学 3 年卒業程度の基礎学力を有していない生徒が多いため、一般的な基礎診断ツールを使用しても実態を把握することが難しい。[利用なし]
- ・本校定時制課程では、外国籍の生徒が 7 割程度在籍しており、日本語能力の診断が必要不可欠である。日本語の基礎学力を測る認定ツールがないため、普通の授業や定期考査及び中学校との情報共有により生徒の能力を把握している現状がある。(中略) 学業に必要な能力(読み・書く・計算)や学力をつけるための公の尺度を国として確立する必要があると強く考えます。[利用なし]
- ・通信制において画一的な実施には課題が多い。[利用なし]

※アンケート調査票は別紙「アンケート調査票」を参照。

アンケート調査票は、学校でのアンケート入力時の説明として、WEB フォームにおける回答方法を併記している。

(以 上)

高等学校における教育の質確保への対応のための調査研究
（「高校生のための学びの基礎診断」等を活用した PDCA サイクルの確立）
ヒアリング調査報告書

株式会社富士通総研

令和4年3月

1. 調査の実施について（目的・対象・調査項目・方法）

1.1. 調査の目的

文部科学省では、高校生に求められる基礎学力の確実な習得等に向けて「高校生のための学びの基礎診断（以下、「基礎診断」と記載）」制度を実施している。本調査は、「基礎診断」における認定ツールの活用状況について全国の高等学校等へ実施したアンケート調査結果をもとに、アンケート調査の具体や好事例を取得することを目的としている。

1.2. 調査項目

公募要項に従い、以下の項目についてヒアリングを実施した。

（教育委員会）

- ・設置者として基礎診断への推進方策や活用方法
- ・基礎学力等を把握するための設置者独自の取組

（高等学校等）

- ・基礎診断の結果を活用した授業改善
（学校全体の傾向を把握した、指導計画の見直し。
診断結果をもとにした、学校の経営改善や教員指導への活用。
特定の教科の結果を踏まえた、他教科の指導計画見直し等）
- ・基礎診断の結果をもとにした、生徒の学習の振り返りへの活用
（診断結果を分析等による生徒へのフィードバック等）
- ・基礎診断以外での基礎学力を把握するための取組

なおヒアリング対象者における対応可能な時間幅により、調査項目の一部のみとなった場合もある。

1.3. 調査の対象

教育委員会および高等学校等へのヒアリング候補の選定基準とヒアリング依頼を行った候補について以下に記載する。詳細は別紙「ヒアリング調査_対象選定」を参照頂きたい。なお、調査期間中（3月16日）に発生した福島県沖地震の影響等を勘案し、実施を見送った対象もある。

1.3.1 教育委員会

（ヒアリング候補の選定基準）

アンケート結果をもとに、管下の学校において、以下の回答割合が高い設置者を抽出。

- ・「認定ツールを活用できている」：アンケート質問 Q7「認定ツールを十分に又は一部活用」
- ・「認定ツールへの設置者の費用負担あり」：アンケート質問 Q8「全額又は一部負担」

（ヒアリング候補）

・高知県

管下の回答校全てが認定ツールを使用し、「認定ツールを活用できている」。また回答校全てが「認定ツールへの設置者の費用負担あり」と回答

・東京都

管下の学校において「認定ツールへの設置者の費用負担」への設問に対する「費用負担あり」の回答割合が 60.0%と多い。

・京都府

管下の学校において「認定ツールへの設置者の費用負担」への設問に対する「費用負担あり」の回答割合が 57.1%と多い。「認定ツールを活用できている」との回答が 87.5%と多い。

・栃木県

管下の学校において「認定ツールへの設置者の費用負担」への設問に対する「費用負担あり」の回答割合が 20.0%と全国平均の 9.8%より多い。「認定ツールを活用できている」との回答が 87.5%と多い。「認定ツールを活用できている」との回答が 78.9%と全国平均の 73.1%より多い。

・石川県、宮崎県（愛媛県、佐賀県）

管下の回答校全てが認定ツールを使用し「認定ツールを活用できている」。また回答校数が一定程度（7 校以上）ある。

※ 4 県のうち、四国は高知県を、九州は宮崎県を候補として優先した。

1.3.2 高等学校等

（ヒアリング候補の選定基準）

アンケート結果をもとに、まずアンケート質問 Q20「ヒアリング調査可」にて「可能」と回答があった 79 校のうち 質問 Q7 にて「認定ツールを活用している」との回答があった 58 校について候補対象としている。そこから更に、以下の回答割合が多い学校を候補として選定した。

㊦基礎診断の結果を、学校全体での PDCA に繋げている。

対応する主なアンケート質問は、Q 14「学校全体の傾向を把握し指導計画の見直しを行っている」の「(P)学校の教育課程、指導計画の見直し」、「(P)年間指導計画や指導案の改善」

と、Q 12「結果を学校経営の改善や教員指導に活用している」の「学校の PDCA につながる」、「教員の指導力向上につながる」である。

㊧基礎学力を把握し結果を、教育の PDCA に繋げている。

対応する主なアンケート質問は、Q 7「基礎学力の把握方法と活用状況」である。

※各質問項目との対応関係については、別紙「ヒアリング調査_対象選定」、「ヒアリング候補_高等学校等」を参照のこと。

（ヒアリング候補）

選定基準⑦⑧より、また学力層に偏りがないように選定し、以下の 10 校を候補とした。

北海道平取高等学校、岩手県立西和賀高等学校、新潟県立有恒高等学校、
東京都立飛鳥高等学校、荒井学園新川高等学校、近畿大学附属和歌山高等学校、
広島県立三原東高等学校、藤井学園寒川高等学校、
大分県立中津南高等学校耶馬溪校、沖縄県立宜野座高等学校

これらの候補のうち、ヒアリング調査実施（電話ヒアリングを含む）に至ったのは 3 校（下線部）である。

1.4. 調査方法

（調査期間）2022 年 3 月 7 日（月）～3 月 31 日（木）

（調査形式）WEB 会議、又は電話ヒアリング

2. ヒアリング調査一覧

2.1. 教育委員会

教育委員会 5 先へのヒアリング結果は、下表のとおり。高知県は WEB 会議でのヒアリングを実施しており、詳細は別紙「ヒアリング議事録」を参照頂きたい。

| 設置者として基礎診断への推進方策 | | |
|--------------------|---|-------------|
| 推進方策 (方針 策定) | <ul style="list-style-type: none"> 県下の高校生の学力の状況を受けて、「教育大綱」や「教育振興基本計画」に基づき推進している。 知事の意向として、教育も含めて全ての県庁業務において PDCA サイクルにて進めるとの方向性である。 | 高知県 |
| 推進方策 (費用 負担) | (費用負担あり) ・平成 28 年に「教育大綱」や「教育振興基本計画」を作成した際に、高校生における学力の基本目標を設定している。学力 D3 層を底上げするとして、県費負担で、県下全ての生徒へ診断テストを一定の回数実施し、学力の到達度を測っている。 | 高知県 |
| | (費用負担あり) ・認定ツールの GTEC について、一部費用負担をしている。大学改革の時に導入し以降そのまま続いているものである。 | 京都府 |
| | (費用負担あり(別事業にて)) ・義務教育段階の学び直しが必要な生徒が多い学校に対して、学力向上研究校として外部試験への費用補助を実施している。研究校が選んだ外部試験の中に、基礎診断の認定ツールが含まれるものと思われる。 | 東京都 |
| | (費用負担あり(別事業にて)) ・現在実施の別事業において、民間の外部試験を 3 年間実証で使用しており、その試験が基礎診断の認定ツールに含まれているものと思われる。 | 栃木県 |
| 特段の取 組なし | <ul style="list-style-type: none"> 好事例として他県の参考になる程の特段の取組は行っていない。 | 宮崎県、 石川県 |

| 設置者として基礎診断の活用方法 | | |
|-----------------|---|-----|
| 教育の P D C A | ・学校ごとに「学校経営計画」、全教員に「学力向上プラン」を作成し全学校、全教員と共有の上、学校全体での PDCA を実施し定着させている。この 2 つの資料における数値などのデータとして、基礎診断の結果や分析を記載し活用している。 | 高知県 |
| 生徒の学 び直し | ・基礎診断の結果は、英数国での習熟度別クラス別に分けに活用し、クラスによっては中学校或いは小学校まで戻って学び直しながら数 I に繋げている。また放課後や朝、長期休業中の補習の中で、学習支援員による個々個別の対応において活用している。 | 高知県 |
| | ・課題として、第 3 期の教育振興基本計画において、D 3 を 10% 以下にす | 高知県 |

| | | |
|---------|--|-----|
| | るとの目標であるが、昨年度においては 17.9%にて 7.9 ポイントの乖離となっている。 | |
| 特段の取組なし | ・学校によって入学時の学力が大きく異なるため、基礎学力向上の取組が学校に任せている。基礎診断については学校に通知しているのみで、学校裁量で進めており、教育委員会側で成果把握は行っていない。 | 栃木県 |

| 基礎学力等を把握するための設置者独自の取組の詳細 | | |
|--------------------------|---|-----|
| 教育の PDCA | ・県教委が学校支援チームを作り、全学校に 1 年間 3 回訪問し、実際の授業を見て後、教員とディスカッションを実施するなど指導力向上を図っている。 | 高知県 |
| | ・平成 24 年度より都内のほぼ全校にて「学カスタンダード」として各学校が学力向上への計画と施策を立案し成果把握・改善する取組を実施している。 | 東京都 |

2.2. 高等学校等

候補として選定しヒアリングを依頼した 10 校の高等学校のうち、ヒアリング実施に至った 3 校についてのヒアリング結果を下表に記載する。広島県立三原東高等学校、大分県立中津南高等学校耶馬溪校、は WEB 会議でのヒアリングを実施しており、詳細は別紙「ヒアリング議事録」を参照頂きたい。

| 基礎診断の結果を活用した授業改善 | | |
|------------------|--|-----------------|
| 授業改善 (全般) | ・検定結果のデータは、クラス担任と進路指導部との話し合いの時間を設定し、事業者も来てもらって他校の事例なども含めて共有している。国数英の教員が主体であり、職員会における分析は実施していない。 | 大分県立中津南高等学校耶馬溪校 |
| | ・検定結果を教科の教員が振り返り、一番下の D 層の状況から 1 年間の指導を振り返り、次年度につなげていく ・学期ごとに個人面談時に検定結果をもとに、一人ひとりへの声かけに使っている。ベネッセから提供される、生徒の時期に応じた声かけの事例を活用することもある。 | 広島県立三原東高等学校 |
| 授業改善 (義務教育段階) | ・義務教育段階が理解出来ていない生徒へは、検定結果を自己採点する時間を強制的に作ってみようかとか、復習の仕方といったことまでも手取り足取りやった方が良いのか、とか少しずつ指導の仕方のマイナーチェンジすることを、教員皆で相談しながらやっている感じである。 | 広島県立三原東高等学校 |
| | ・試験事業者の講師に来てもらい、生徒に対して「何のために勉強するのか」といった学習意欲を向上させる取組を入れている。 ・教員向け対応としては、結果分析や他県での取組み紹介などについて、データの蓄積からの説明が受けられる。 | 大分県立中津南高等学校耶馬溪校 |
| 指導計画の見直し | ・検定結果を使って、学校全体での進路指導の計画を見直している。 | 広島県立三原東高等学校 |
| 方針の共有 | ・学校ごとに色々な事業に取り組んだり、主体的な学びに向かって、これからの時代の合わせた学力をつけることもやりつつ、基礎学力向上に向けて、県のおおまかな方針に従って各学校の現状に合わせて、課題を確認するようにしている。 | 広島県立三原東高等学校 |
| 他 | ・生徒数が 1000 人を超える中高一貫校である。ベネッセの試験は大分前から使用している。年 1 回のみ設置者側の全額負担で、附属間の学力を把握する共通のモノサシとして活用している。それ以外は認定ツール以外も含めて個人負担である。認定ツール以外の漢検、英検は、昔から授業の中でも活用している。 | 近畿大学附属和歌山高等学校 |

| 基礎診断の結果もとにした、生徒の学習の振り返りへの活用 | | |
|-----------------------------|--|-------------|
| | ・全ての生徒が、1 年生で年 3 回、2 年生で 3 回、3 年生で 1 回受けており、個人の伸びや学年の特徴が把握できる。 ・検定結果データを教科会と担任会（学年会）で把握・共有し、進路指導に | 広島県立三原東高等学校 |

| | | |
|--|--|------------------------------|
| | <p>繋げたり、一番下の層の学力の底上げとして、ランクを少しでも上げようと取組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックが全生徒に効果が出るように、事前学習から復習までやろうとはしているが、現状の課題ではある。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・検定結果に振り返り問題が付いてくるので、授業の中で解いたり、事前のトリアル問題を、教員が働きかけて勉強させる。また夏休み期間に解いてみて受ける、としている。 | <p>大分県立中津南高等学校 校耶馬溪校</p> |

| 基礎診断以外での基礎学力を把握するための取組 | | |
|----------------------------|---|------------------------------|
| <p>朝学習</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームルームの 10 分間での朝学習にて、基礎的な内容のプリントやドリルを使って自主学習の延長みたいな感じで、学習習慣をつけて基礎学力をつけようとの取組みを行っている。 | <p>広島県立三原東高等学校</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を行っている。 ・家で自身で勉強する学習習慣がなく、教員より様々に働きかけても継続するところが難しい。 | <p>大分県立中津南高等学校 校耶馬溪校</p> |
| <p>補充学習、 通級</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・補充学習を週 1 回 30 分程度、小学校 4、5 年の算数を解いてみる、といったことが生徒にとって意味があると思える。基礎診断テストの内容はほぼ解けないので、基礎的なことを身につけさせないと、と考える。 ・希望制で通級（年間最大 7 時間）を導入している。 ・生徒全員の底上げする時間をどのように捻出するか、社会に出て生きていくのに最低限必要なものを身につけるためにどうするのか、が教員側の課題である。 | <p>大分県立中津南高等学校 校耶馬溪校</p> |

(以上)